４　米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和２年６月分)

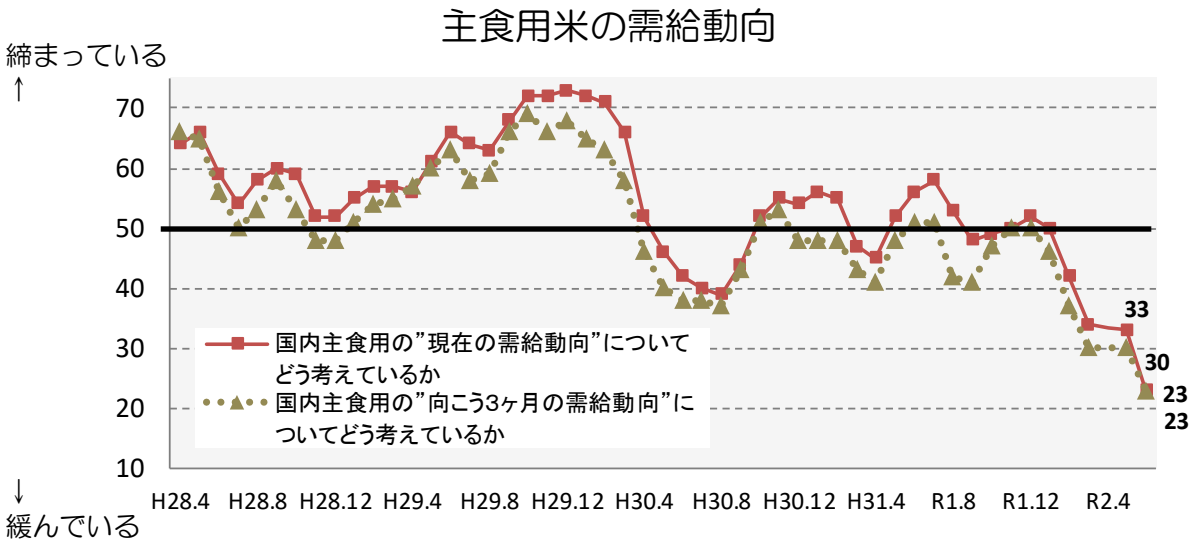
調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 https://www.komenet.jp/ 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和２年６月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前回調査比▲１０ポイント、見通し（向こう3ヶ月）判断は▲７ポイント。
- 米価水準の現状判断は対前回調査比 ▲８ポイント、見通し（向こう３ヶ月）判断は▲4ポイント。

1．国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

①　主食用米の需給動向

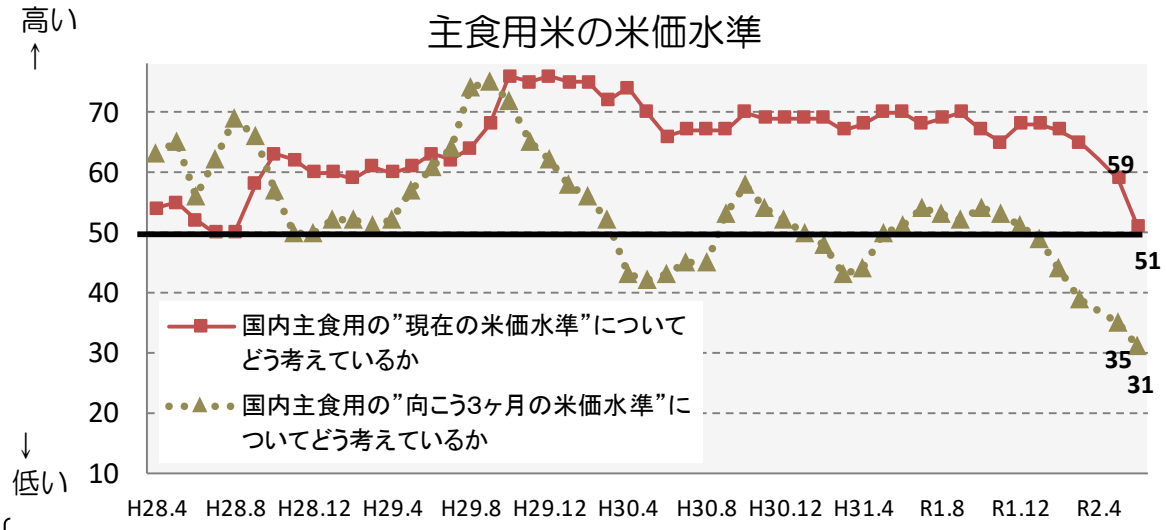
（ア）現状判断ＤＩ　　前回からの増減　▲10（今月の数値　23）
（イ）見通し判断ＤＩ（向こう３ヶ月）　　前回からの増減　▲７　（今月の数値　23）



※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「（将来）締まる」という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「緩んでいる」/「（将来）緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

②　主食用米の米価水準

（ア）現状判断ＤＩ　　前回からの増減　▲8（今月の数値　51）
（イ）見通し判断ＤＩ（向こう３ヶ月）　　前回からの増減　▲4（今月の数値　31）



※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2．自社の取引状況に関する判断（業態ごと）

①主食用米の販売数量

※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」／「（将来）増える」　という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「減った」／「（将来）減る」　という見方が前月より強くなった傾向を示します。

（ア）今月の販売数量に関する現状判断ＤＩ

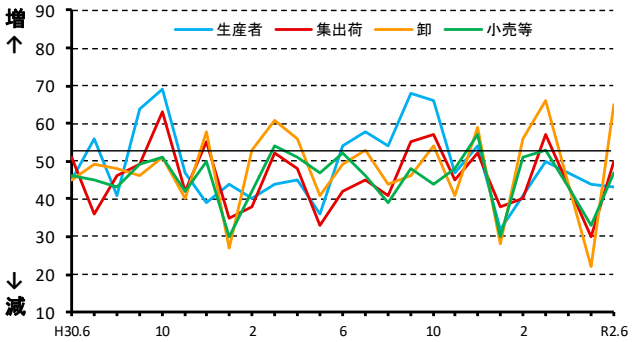
ａ．先月との比較

生産者：前回からの増減　▲１（今月の数値　４３）
集出荷：前回からの増減　＋20（今月の数値　５０）
卸　：前回からの増減　＋43（今月の数値　６５）
小売等：前回からの増減　＋14（今月の数値　４７）

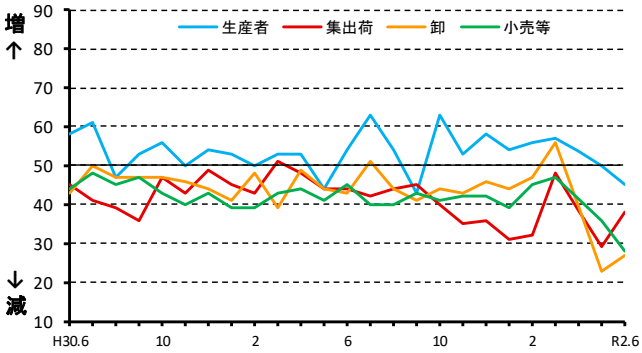
ｂ．前年同月との比較

生産者：前回からの増減　▲５（今月の数値　４５）
集出荷：前回からの増減　＋９（今月の数値　３８）
卸　：前回からの増減　＋４（今月の数値　２７）
小売等：前回からの増減　▲８（今月の数値　２８）

①-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”前年 同月と比較”するといかがですか。



（イ）来月の販売数量に関する見通しＤＩ

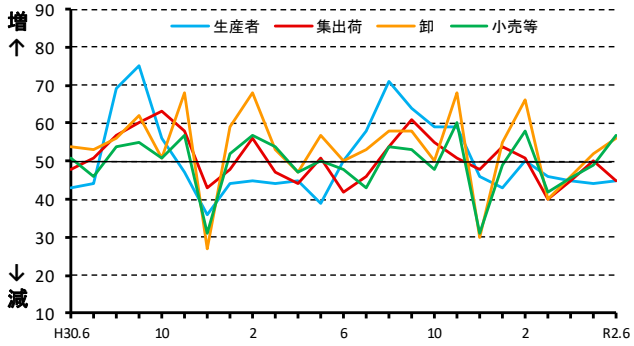
ａ．今月との比較

生産者：前回からの増減　＋１（今月の数値　４５）
集出荷：前回からの増減　▲５（今月の数値　４５）
卸　：前回からの増減　＋４（今月の数値　５６）
小売等：前回からの増減　＋８（今月の数値　５７）

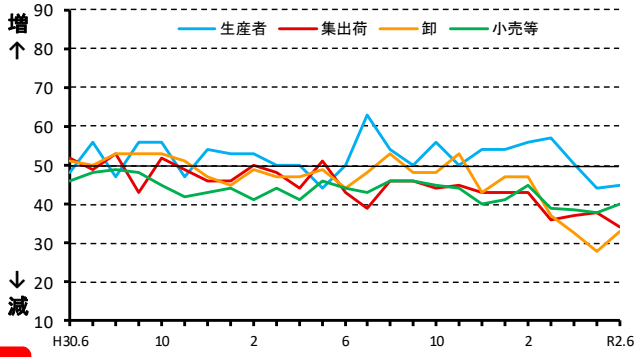
ｂ．前年同月との比較

生産者：前回からの増減　＋１（今月の数値　４５）
集出荷：前回からの増減　▲４（今月の数値　３４）
卸　：前回からの増減　＋５（今月の数値　３３）
小売等：前回からの増減　＋２（今月の数値　４０）

①-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”前年 同月と 比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

（ア）今月の価格に関する現状判断ＤＩ

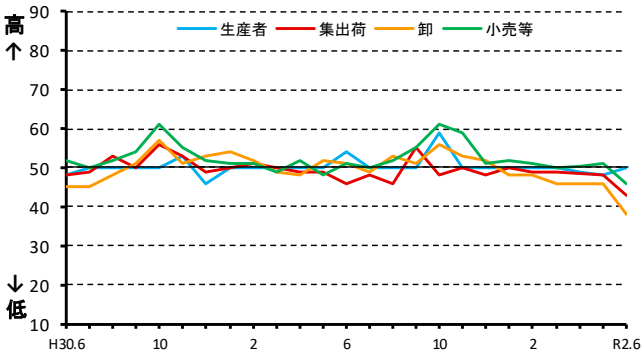
ａ. 先月との比較

生産者：前回からの増減　＋２（今月の数値　５０）
集出荷：前回からの増減　▲５（今月の数値　４３）
卸　：前回からの増減　▲８（今月の数値　３８）
小売等：前回からの増減　▲５（今月の数値　４６）

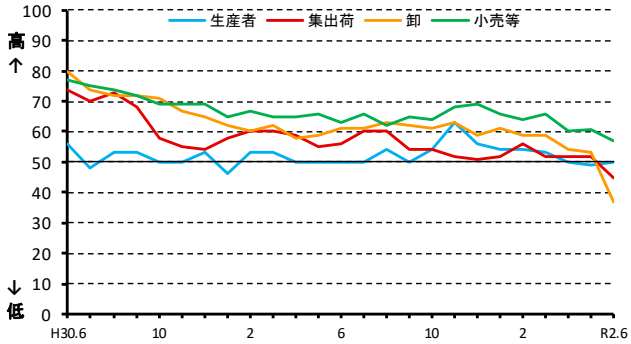
ｂ. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減　＋２（今月の数値　５０）
集出荷：前回からの増減　▲７（今月の数値　４５）
卸　：前回からの増減　▲15（今月の数値　３７）
小売等：前回からの増減　▲４（今月の数値　５７）

②-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”価格”について、
”先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”価格”について、
”前年同月と比較”するといかがですか。



（イ）来月の価格に関する見通しＤＩ

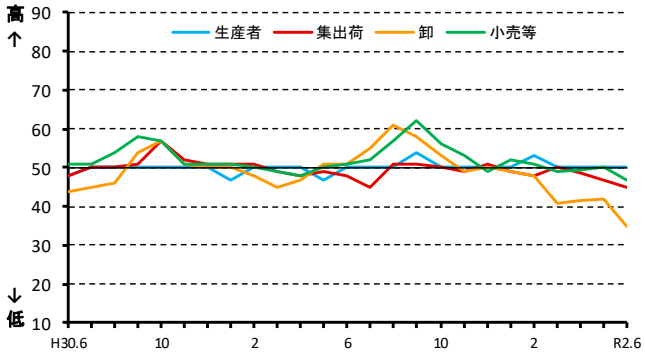
ａ. 今月との比較

生産者：前回からの増減　±０（今月の数値　５０）
集出荷：前回からの増減　▲２（今月の数値　４５）
卸　：前回からの増減　▲７（今月の数値　３５）
小売等：前回からの増減　▲３（今月の数値　４７）

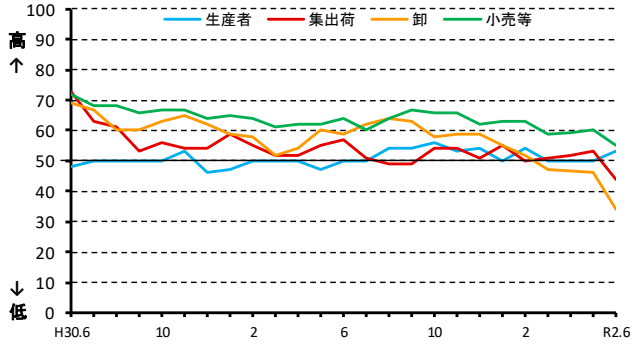
ｂ. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減　＋３（今月の数値　５３）
集出荷：前回からの増減　▲９（今月の数値　４４）
卸　：前回からの増減　▲12（今月の数値　３４）
小売等：前回からの増減　▲５（今月の数値　５５）

②-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の"価格"について、
”今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”価格”について、
”前年同月”と比較してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

（ア）今月の在庫量に関する現状判断ＤＩ

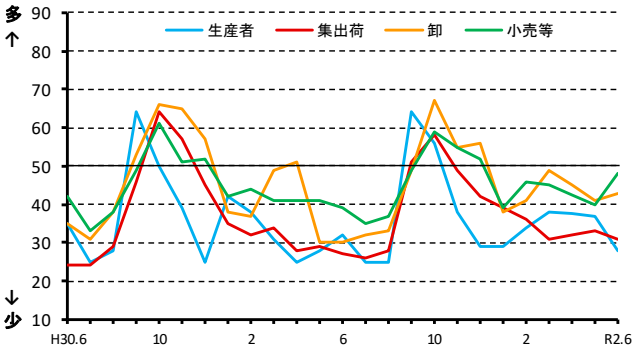
ａ. 先月との比較

生産者：前回からの増減　▲９（今月の数値　２８）
集出荷：前回からの増減　▲２（今月の数値　３１）
卸　：前回からの増減　＋２（今月の数値　４３）
小売等：前回からの増減　＋８（今月の数値　４８）

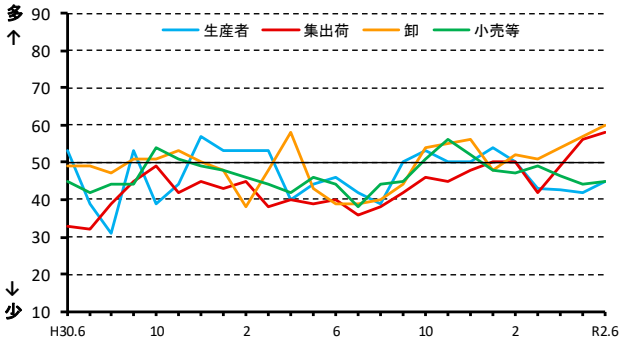
ｂ. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減　＋３（今月の数値　４５）
集出荷：前回からの増減　＋２（今月の数値　５８）
卸　：前回からの増減　＋３（今月の数値　６０）
小売等：前回からの増減　＋１（今月の数値　４５）

③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、"先月と比較"するといかがですか。



③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



（イ）来月の在庫量に関する見通しＤＩ

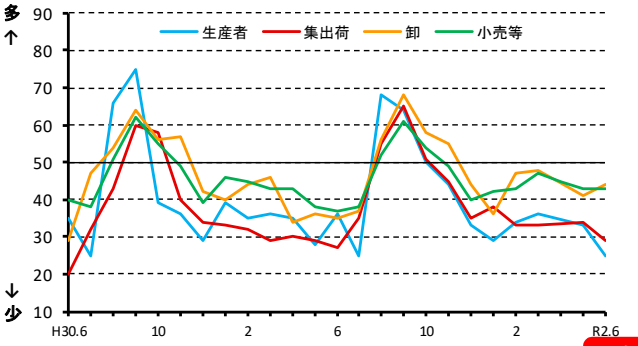
ａ. 今月との比較

生産者：前回からの増減　▲８（今月の数値　２５）
集出荷：前回からの増減　▲５（今月の数値　２９）
卸　：前回からの増減　＋３（今月の数値　４４）
小売等：前回からの増減　±０（今月の数値　４３）

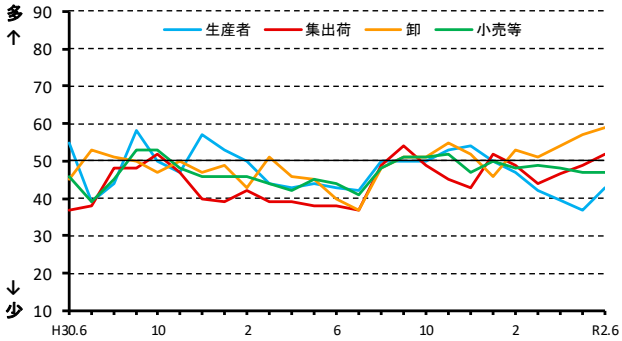
ｂ. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減　＋６（今月の数値　４３）
集出荷：前回からの増減　＋３（今月の数値　５２）
卸　：前回からの増減　＋２（今月の数値　５９）
小売等：前回からの増減　±０（今月の数値　４７）

③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が１の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H30.6	2%	17%	4%	60%	13%	5%	0%
H30.7	9%	16%	5%	51%	14%	4%	1%
H30.8	12%	12%	5%	55%	12%	4%	1%
H30.9	11%	15%	4%	54%	10%	5%	0%
H30.10	20%	9%	2%	51%	12%	5%	0%
H30.11	19%	11%	3%	50%	11%	5%	1%
H30.12	11%	13%	3%	57%	11%	4%	1%
H31.1	12%	14%	4%	55%	12%	4%	0%
H31.2	7%	19%	2%	56%	10%	5%	1%
H31.3	5%	15%	4%	56%	17%	4%	0%
H31.4	5%	14%	4%	56%	17%	4%	0%
R1.5	4%	21%	4%	55%	13%	3%	0%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R1.6	4%	21%	5%	59%	7%	3%	1%
R1.7	15%	12%	4%	55%	7%	5%	1%
R1.8	18%	14%	8%	48%	8%	4%	1%
R1.9	24%	13%	4%	49%	6%	2%	2%
R1.10	22%	13%	3%	49%	8%	2%	2%
R1.11	19%	11%	3%	52%	13%	1%	1%
R1.12	14%	12%	3%	58%	9%	3%	1%
R2.1	7%	11%	2%	57%	18%	5%	0%
R2.2	3%	16%	4%	51%	19%	4%	2%
R2.3	2%	21%	2%	39%	28%	3%	5%
R2.4	－	－	－	－	－	－	－
R2.5	3%	18%	1%	38%	33%	3%	5%
R2.6	3%	27%	2%	35%	26%	6%	2%

《アンケート方法等》

〇調査期間：毎月１日から２５日までの取引状況を踏まえて回答

〇調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

〇調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の１６０客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、５月からアンケート対象事業者の拡充及び入替を行っております。

〇有効回答数：１３３客体

生産者・・・・・・・・・・・・・・１０
集出荷業者／団体・・・・・・・・・２８
卸売業者（主に主食用米）・・・・３２
小売業者／中食・外食業者・・・・４８
その他・・・・・・・・・・・・・・１５

※「その他」は以下の業者です。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

〇結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

〇表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《ＤＩの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する５段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてＤＩを算出します。

ただし、ＤＩの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じＤＩが観測されることに注意が必要です。

（ＤＩの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう３ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	＋1	＋0．75	＋0．5	＋0．25	0
構成比(B)	17．8	20．0	20．0	22．2	20．0
各DI(C＝A×B)	17．8	15	10	5．6	0
DI(合計)	48．4				

Ⅳ　消費の動向

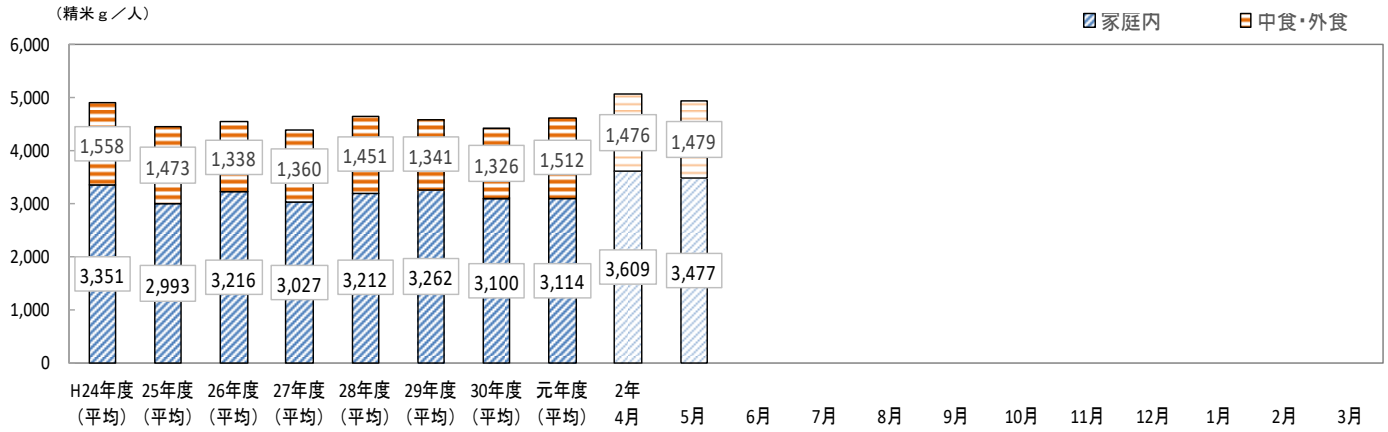
１　米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 https://www.komenet.jp/ 】

○　本調査は、調査実施機関（(株)マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」(令和2年5月分)によると、１人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月比＋2.2%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月比＋8.3%、中食・外食では▲9.8%。

（１）　1人１ヵ月当たり精米消費量



（精米g／人、%）

		精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
		合計	家庭内	中・外食	中食	外食	合計	家庭内	中・外食	中食	外食	合計	家庭内	中・外食	中食	外食
平成24年度		4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度		4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度		4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度		4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度		4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度		4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度		4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度		4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
令和2年	4月	5,085	3,609	1,476	1,095	382	100.0	71.0	29.0	21.5	7.5	3.3	11.6	▲12.7	11.8	▲46.2
	5月	4,956	3,477	1,479	1,032	447	100.0	70.2	29.8	20.8	9.0	2.2	8.3	▲9.8	6.6	▲33.5

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注１：令和２年５月分の有効調査世帯数は2,164世帯。
２：平成24～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。
３：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。
４：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。
５：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。
６：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- 精米購入経路別の購入単価は、「デパート」が最も高く、次いで「インターネットショップ」、「生協」の順となっている※。
  ※購入割合が有効調査世帯数の１％に満たない精米購入経路を除いた順である。
- 令和2年5月の家庭内の月末在庫数量は、6.5kgとなっている。

② 精米購入時の動向

（ア） 入手経路（複数回答）

（%）

		デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協（店舗・共同購入含む）	農協（店舗・共同購入含む）	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成25年度		0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6
平成26年度		1.2	48.7	4.1	2.4	0.2	8.2	1.5	3.5	2.0	6.7	8.7	19.5	2.6
平成27年度		1.8	48.1	3.7	2.5	0.2	7.8	1.0	3.7	1.5	5.2	9.7	20.3	2.6
平成28年度		1.5	49.7	3.7	2.8	0.5	8.1	1.5	2.7	1.8	6.2	9.6	17.2	3.2
平成29年度		1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5
平成30年度		1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3
令和元年度		1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4
令和2年	4月	0.5	52.5	5.2	4.1	0.1	6.3	1.5	2.4	0.9	4.3	10.0	13.3	5.2
	5月	1.3	51.0	5.5	4.4	0.3	6.8	1.0	2.7	1.0	4.4	10.3	13.5	4.4

注：１　平成25～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値。
　　２　令和2年5月分の有効調査世帯数は1359世帯。

（イ） 精米購入経路別の購入単価（複数回答）

（円/kg）

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協（店舗・共同購入含む）	農協（店舗・共同購入含む）	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	－
令和2年4月	※422	383	409	387	※506	445	385	456	※427	387	514	2,321
5月	521	413	360	341	※489	448	370	431	376	346	485	2,164

注：１　デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
　　２　購入単価は消費税を除く本体価格である。
　　３　表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の１％に満たないため参考値とする。
　　４　令和元年度は4月から翌年3月までの平均値である。

（ウ） 家庭内の月末在庫数量

（kg/世帯、%）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6	6.9	3.0
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	－
27年度	月末在庫数量	6.0	6.2	6.2	6.3	6.4	6.6	6.9	7.1	7.3	7.1	6.8	6.6	6.6	▲4.3
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.40	－
28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	－
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	－
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	－
令和元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	－
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5											6.8	9.7
	平均世帯人員	2.33	2.33											2.33	－

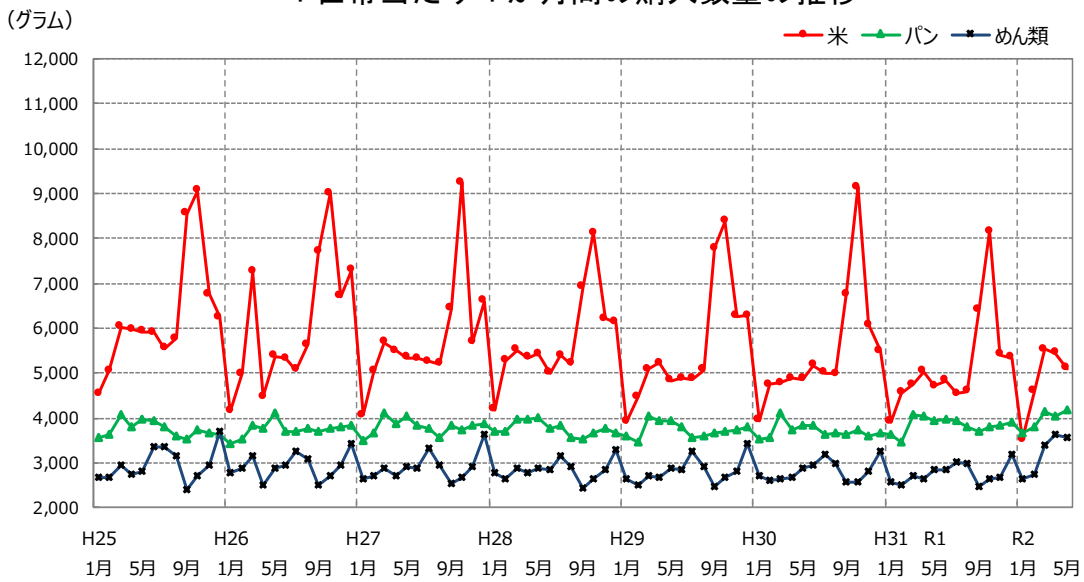
注：１ 地域ごとの世帯人員構成比が平成26～28年度はH22国勢調査、平成29～令和元年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。
注：２ 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

２　購入数量の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 https://www.stat.go.jp/data/index.html 】

・　総務省が公表している家計調査によると、令和２年5月の米の購入数量は、対前年同月比＋8.5%の5.1kg、パンは＋5.7の4.2kg、めん類は＋24.9%の3.6kg。

１世帯当たり１か月間の購入数量の推移



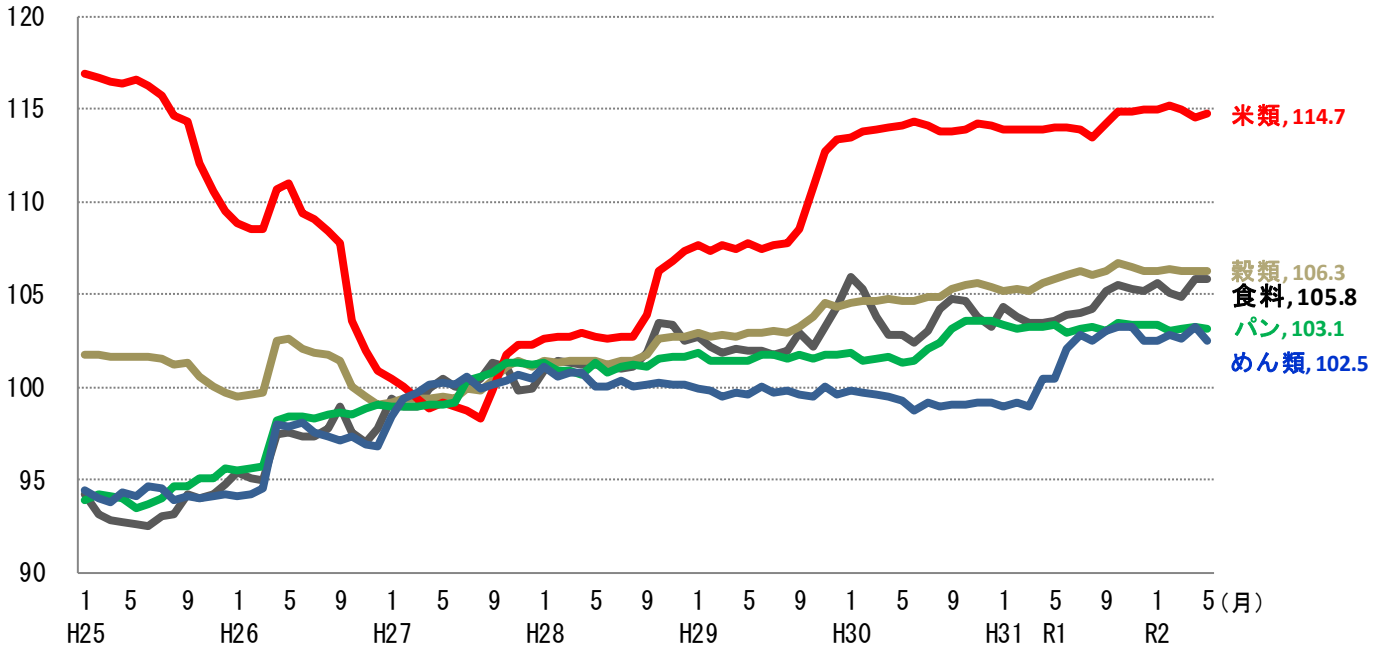
（グラム）

	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成25年	**75,170**	95.4%	**44,927**	100.3%	**35,560**	99.3%
26年	**73,050**	97.2%	**44,926**	100.0%	**35,176**	98.9%
27年	**69,510**	95.2%	**45,676**	101.7%	**34,753**	98.8%
28年	**68,740**	98.9%	**45,099**	98.7%	**34,192**	98.4%
29年	**67,270**	97.9%	**44,840**	99.4%	**33,934**	99.2%
30年	**65,750**	97.7%	**44,526**	99.3%	**33,867**	99.8%
令和元年	**62,200**	94.6%	**46,011**	103.3%	**33,169**	97.9%
令和元年　９月	**6,420**	95.3%	**3,693**	101.3%	**2,475**	96.2%
10月	**8,160**	89.3%	**3,806**	102.3%	**2,642**	102.2%
11月	**5,420**	89.3%	**3,830**	106.3%	**2,662**	95.1%
12月	**5,350**	97.4%	**3,892**	106.5%	**3,201**	98.5%
令和２年　１月	**3,520**	90.0%	**3,652**	100.7%	**2,629**	102.0%
２月	**4,600**	100.9%	**3,789**	109.7%	**2,751**	109.5%
３月	**5,540**	116.9%	**4,157**	102.2%	**3,382**	124.3%
４月	**5,440**	108.2%	**4,037**	100.2%	**3,637**	138.0%
５月	**5,110**	108.5%	**4,177**	105.7%	**3,578**	124.9%

資料：総務省「家計調査」家計収支編　二人以上の世帯
注１：平成25～令和元年は年間の購入数量・対前年比、令和２年は月間の購入数量・対前年同月比である。
注２：米は精米ベースである。

３　消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数によると、令和2年5月の米類の指数は対前年同月比 ＋0.6%の114.7ポイント。



（平成27年＝100、指数）

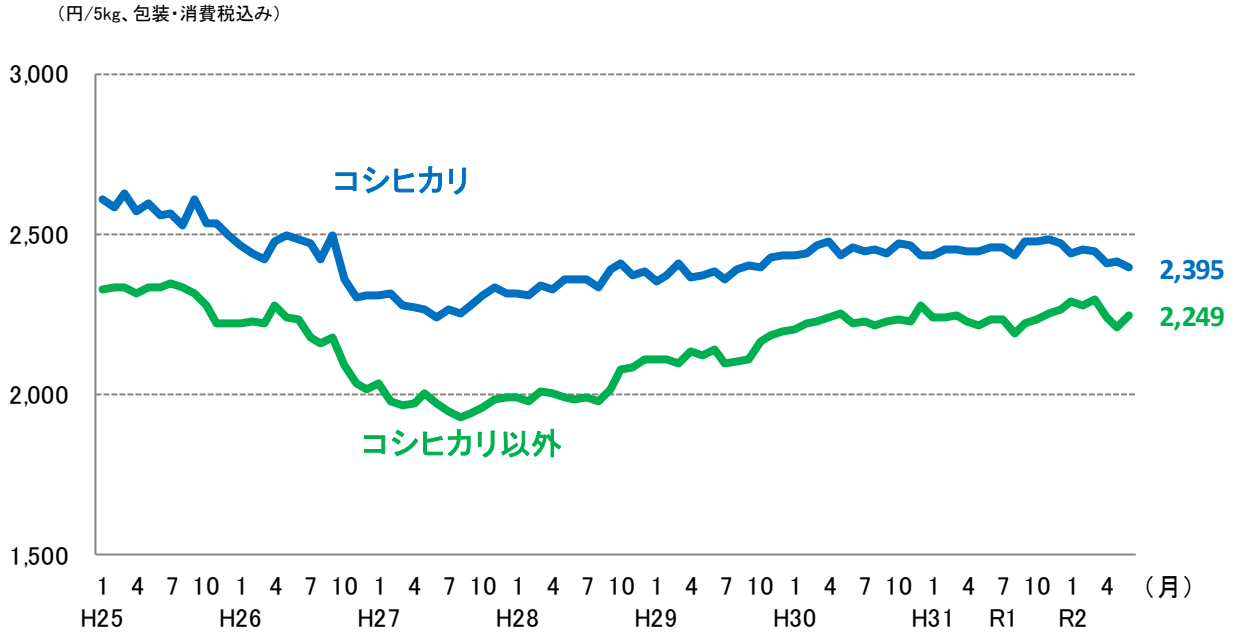
	食料	対前年(同月)比	穀類	対前年(同月)比	米類	対前年(同月)比	うるち米	対前年(同月)比	パン	対前年(同月)比	めん類	対前年(同月)比
平成25年（平均）	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
26年（平均）	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
27年（平均）	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
28年（平均）	101.7	1.7%	101.7	1.7%	103.8	3.8%	104.0	4.0%	101.2	1.2%	100.3	0.3%
29年（平均）	102.4	0.7%	103.2	1.5%	108.8	4.8%	109.2	5.1%	101.6	0.4%	99.7	▲0.6%
30年（平均）	103.9	1.4%	104.9	1.7%	114.0	4.7%	114.6	5.0%	102.3	0.7%	99.3	▲0.5%
令和元年（平均）	104.3	0.5%	105.9	0.9%	114.2	0.2%	114.9	0.2%	103.2	0.9%	101.4	2.2%
令和2年　1月	105.6	1.2%	106.2	1.0%	114.9	0.8%	115.6	0.8%	103.3	0.0%	102.5	3.6%
2月	105.1	1.2%	106.4	1.1%	115.2	1.1%	115.8	1.0%	103.0	▲0.1%	102.8	3.6%
3月	104.9	1.4%	106.3	1.0%	114.9	0.9%	115.6	0.9%	103.1	▲0.1%	102.6	3.7%
4月	105.8	2.1%	106.3	0.7%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.2	0.0%	103.2	2.8%
5月	105.8	2.1%	106.3	0.5%	114.7	0.6%	115.3	0.5%	103.1	▲0.1%	102.5	2.0%

資料：総務省「消費者物価指数」平成27年基準、品目別価格指数（全国）

注１：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
　２：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
　３：平成25年～令和元年のデータは年平均、令和2年は月次データである。

4　小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和２年6月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比▲2.6%の2,395円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比＋0.7%の2,249円。



（円/5kg、包装・消費税込み）

年平均	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
コシヒカリ	**2,567**	**2,428**	**2,285**	**2,355**	**2,388**	**2,451**	**2,457**
前年比	▲0.4%	▲5.4%	▲5.9%	3.1%	1.4%	2.6%	0.2%
コシヒカリ以外	**2,307**	**2,173**	**1,973**	**2,019**	**2,132**	**2,232**	**2,234**
前年比	3.8%	▲5.8%	▲9.2%	2.3%	5.6%	4.7%	0.1%

月次（令和2年）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	**2,439**	**2,455**	**2,443**	**2,407**	**2,416**	**2,395**						
前年同月比	0.2%	0.1%	▲0.3%	▲1.5%	▲1.1%	▲2.6%						
コシヒカリ以外	**2,288**	**2,279**	**2,295**	**2,241**	**2,210**	**2,249**						
前年同月比	2.1%	1.7%	2.3%	0.5%	▲0.3%	0.7%						

月次（令和元年）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	**2,434**	**2,453**	**2,451**	**2,443**	**2,444**	**2,460**	**2,458**	**2,431**	**2,475**	**2,474**	**2,483**	**2,472**
前年同月比	0.0%	0.6%	▲0.6%	▲1.3%	0.5%	0.0%	0.6%	▲0.9%	1.6%	0.0%	0.7%	1.6%
コシヒカリ以外	**2,241**	**2,242**	**2,244**	**2,229**	**2,216**	**2,233**	**2,233**	**2,191**	**2,223**	**2,233**	**2,252**	**2,267**
前年同月比	1.7%	0.9%	0.7%	▲0.5%	▲1.7%	0.5%	0.2%	▲1.2%	▲0.3%	▲0.1%	1.0%	▲0.4%

資料：総務省「小売物価統計」動向編
注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

5　米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

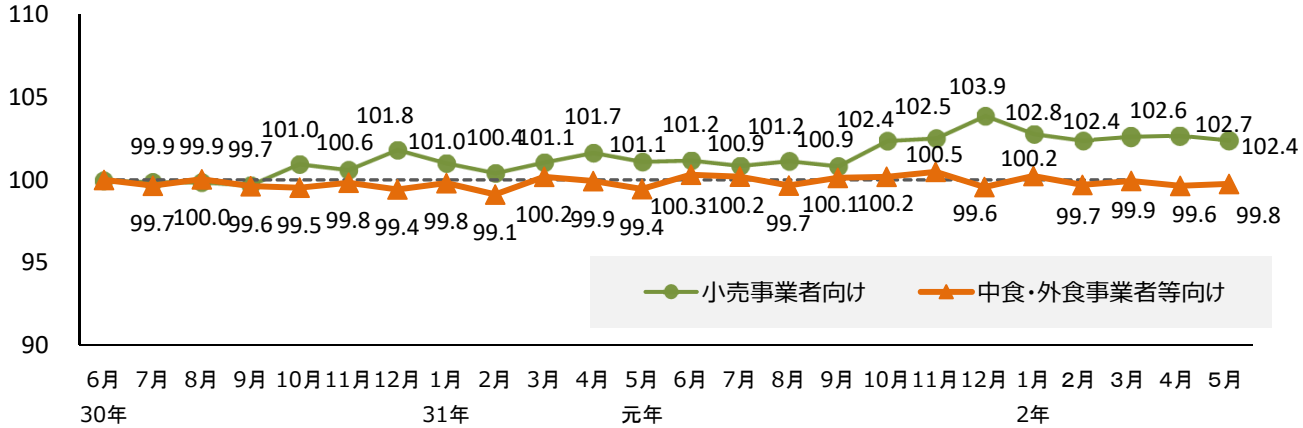
- 令和2年５月の販売数量（前年同月比）は、小売事業者向け95%、中食・外食事業者等向け76%で販売数量は86%となり、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請等により家庭用の需要が一時的に高まったが、全体として見れば、昨年から米の需要は停滞している。特に直近の４、５月では、外食向けを中心に業務用の需要の減少が大きい。
- 平成30年６月を基準にした令和２年５月の販売価格の値動きは、小売事業者向け102.4、中食・外食事業者等向け99.8。
- 前年同月を基準にした令和２年５月の販売価格の値動きは、小売事業者向け101.1、中食・外食事業者等向け100.0。

1　販売数量の動向（前年同月比）

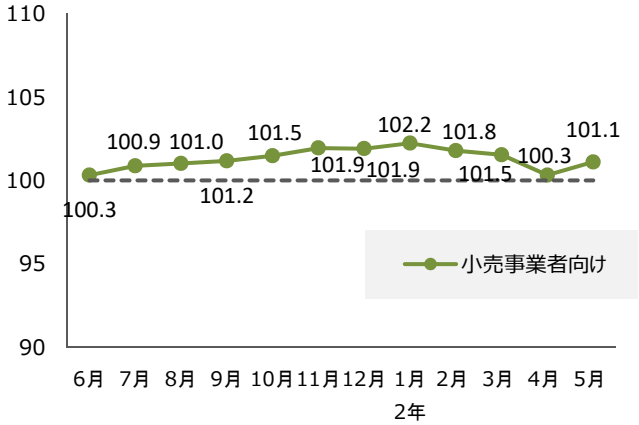
	元年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月
小売事業者向け	94%	99%	96%	101%	97%	99%	99%	101%	110%	124%	110%	95%
中食・外食事業者等向け	104%	100%	100%	97%	98%	95%	97%	98%	99%	89%	75%	76%
販売数量計	99%	99%	98%	99%	97%	97%	98%	100%	105%	108%	94%	86%

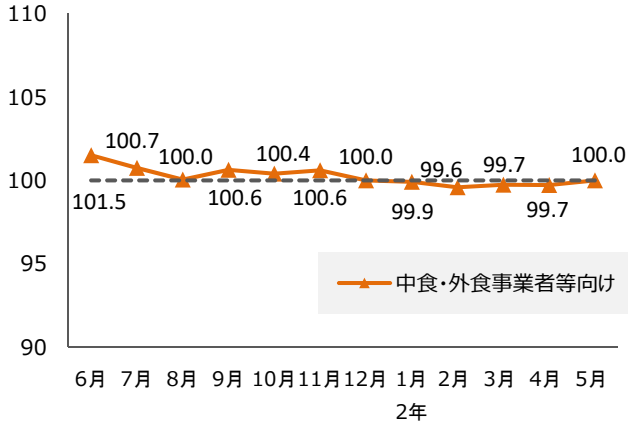
注：前月公表分までは、報告者からの対前年比の比率の割合により、整理していたが、今回公表から、販売数量（実数）と対前年の販売数量（実数）との比率としており、実数比較が可能となった元年６月分から数値を精査の上、遡及して整理。

2　販売価格の動向（30年６月を基準にした値動き）



3　販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）





資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注１：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000㌧以上の販売事業者である。

注２：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注３：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

６　小売価格の推移（ＰＯＳデータ）

主な銘柄の月別価格・販売数量

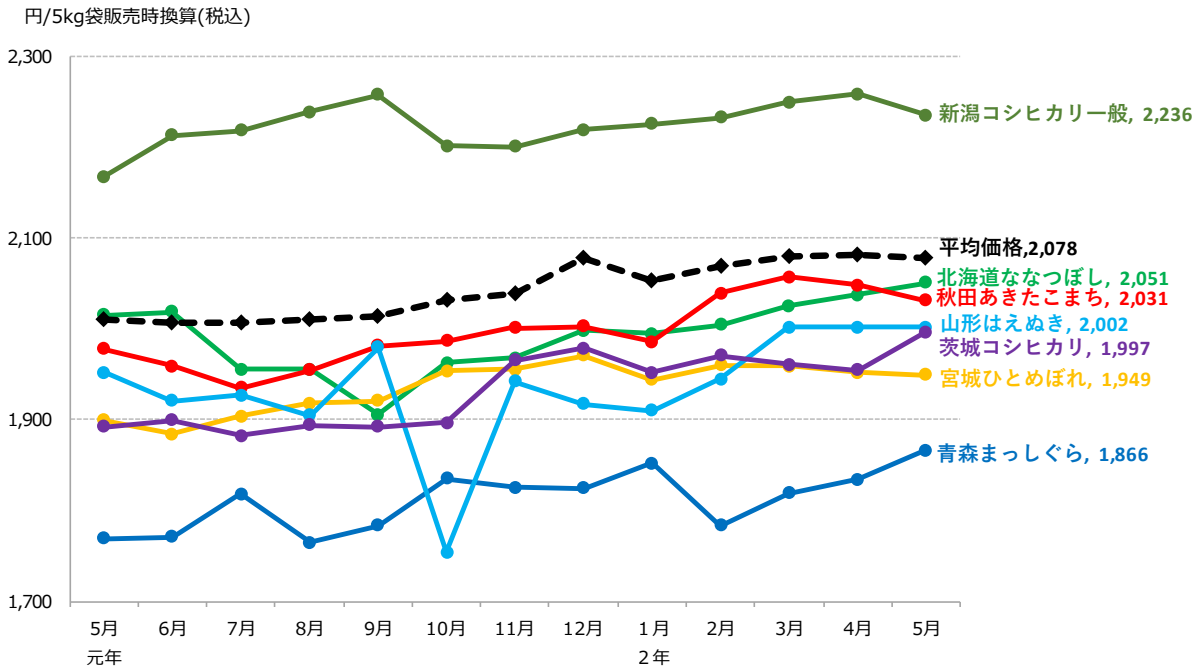
単位：円/5kg袋販売時換算（消費税込み）、トン

	販売価格															販売数量	
	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	前月差	前年同月差	2年5月	元年10月～2年5月
北海道　ななつぼし	2,015	2,019	1,955	1,956	1,906	1,963	1,968	1,998	1,995	2,009	2,025	2,038	2,051	＋14	＋29	255	2,360
北海道　ゆめぴりか	2,253	2,262	2,266	2,320	2,388	2,395	2,388	2,408	2,416	2,415	2,429	2,455	2,453	▲2	＋196	201	1,677
北海道　きらら３９７	1,942	1,915	1,952	1,965	1,876	1,898	1,920	1,952	1,911	1,958	1,968	1,922	1,929	＋7	＋4	64	376
北海道　ふっくりんこ	2,218	2,209	2,216	2,209	2,212	2,145	2,188	2,180	2,188	2,212	2,209	2,214	2,218	＋4	▲6	39	322
青森　つがるロマン	1,968	1,942	1,952	1,939	1,874	1,845	1,857	1,926	1,934	1,912	1,920	1,870	1,906	＋36	▲71	24	142
青森　まっしぐら	1,770	1,771	1,818	1,765	1,783	1,835	1,825	1,824	1,852	1,785	1,819	1,834	1,866	＋32	＋104	12	90
青森　青天の霹靂	2,199	2,204	2,216	2,146	2,205	2,222	2,250	2,291	2,302	2,324	2,334	2,327	2,315	▲12	＋117	13	96
岩手　ひとめぼれ	1,918	1,907	1,935	1,912	1,894	1,995	1,987	1,990	1,969	1,982	2,011	2,003	1,968	▲35	＋42	117	794
岩手　あきたこまち	1,820	1,830	1,854	1,851	1,855	1,922	1,836	1,866	1,827	1,824	1,852	1,859	1,839	▲21	＋26	11	147
岩手　銀河のしずく	2,108	2,038	2,029	2,022	2,205	2,035	2,026	2,009	2,015	1,981	2,087	2,078	2,030	▲49	▲50	20	97
宮城　ひとめぼれ	1,899	1,884	1,904	1,918	1,921	1,954	1,956	1,971	1,944	1,960	1,959	1,952	1,949	▲3	＋23	166	1,143
宮城　つや姫	2,020	1,992	2,054	2,061	2,105	2,099	2,080	2,088	2,052	2,064	2,082	2,078	2,068	▲10	▲18	27	165
秋田　あきたこまち	1,978	1,959	1,935	1,955	1,981	1,987	2,002	2,003	1,986	2,031	2,057	2,048	2,031	▲17	＋66	206	1,549
秋田　ひとめぼれ	1,870	1,811	1,828	1,745	1,773	1,749	1,713	1,803	1,838	1,852	1,922	1,912	1,913	＋1	＋28	31	199
山形　つや姫	2,467	2,464	2,471	2,472	2,452	2,449	2,423	2,459	2,482	2,529	2,445	2,550	2,499	▲51	＋23	64	493
山形　はえぬき	1,952	1,921	1,927	1,905	1,980	1,754	1,942	1,917	1,910	1,943	2,002	2,002	2,002	＋0	＋66	39	264
山形　雪若丸	2,080	2,071	2,007	2,078	2,135	2,107	2,137	2,135	2,070	2,081	2,064	2,046	2,047	＋1	▲25	17	119
茨城　コシヒカリ	1,892	1,899	1,883	1,894	1,892	1,897	1,965	1,979	1,952	1,973	1,961	1,955	1,997	＋42	＋162	17	157
茨城　あきたこまち	1,848	1,883	1,869	1,882	1,882	1,894	1,929	1,900	1,877	1,881	1,929	1,970	1,948	▲22	＋42	7	179
栃木　コシヒカリ	1,963	2,020	1,965	2,045	2,074	1,955	2,025	2,056	2,082	1,950	1,967	2,021	2,020	▲1	▲8	24	193
栃木　なすひかり	1,901	1,891	1,891	1,887	1,917	1,933	1,949	1,919	1,858	1,959	1,963	1,945	1,920	▲25	＋51	12	117
千葉　コシヒカリ	1,919	1,914	1,943	1,948	1,996	2,023	1,991	2,018	2,033	2,064	2,095	2,095	2,090	▲5	＋159	32	264
千葉　ふさこがね	1,741	1,683	1,700	1,821	1,871	1,778	1,769	1,791	1,754	1,768	1,809	1,815	1,781	▲35	＋9	22	195
千葉　ふさおとめ	1,802	1,805	1,810	1,848	1,844	1,843	1,829	1,819	1,851	1,857	1,896	1,906	1,894	▲12	＋85	30	268
新潟　コシヒカリ　一般	2,168	2,213	2,219	2,239	2,258	2,202	2,201	2,220	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236	▲23	＋50	177	1,449
新潟　コシヒカリ　魚沼	2,763	2,778	2,791	2,769	2,802	2,791	2,772	2,698	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803	▲25	＋32	36	298
新潟　コシヒカリ　佐渡	2,308	2,306	2,295	2,280	2,298	2,232	2,218	2,300	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365	＋8	＋60	14	133
新潟　こしいぶき	1,764	1,809	1,800	1,828	1,844	1,845	1,794	1,796	1,813	1,822	1,865	1,855	1,868	＋14	＋53	45	391
新潟　新之助	2,398	2,415	2,427	2,415	2,406	2,477	2,501	2,488	2,422	2,493	2,507	2,496	2,538	＋42	＋142	10	84
富山　コシヒカリ	2,052	2,068	2,042	2,062	2,135	2,101	2,060	2,075	2,098	2,135	2,139	2,171	2,111	▲60	＋63	108	777
石川　コシヒカリ	2,057	2,034	2,028	2,034	2,158	2,085	2,060	2,101	2,047	2,073	2,115	2,085	2,111	＋26	＋43	77	545
石川　ゆめみづほ	1,920	1,916	1,956	1,992	1,934	1,923	1,893	1,941	1,908	2,065	2,081	1,891	2,029	＋138	＋75	7	81
福井　コシヒカリ	2,076	1,996	2,018	2,085	2,096	2,010	2,045	2,111	2,085	2,017	2,218	2,104	2,101	▲3	＋35	20	171
福井　ハナエチゼン	1,912	1,831	1,897	1,963	1,959	1,931	1,941	1,935	1,928	1,957	1,957	1,949	1,959	＋10	＋112	11	118
山梨　コシヒカリ	2,269	2,256	2,313	2,329	2,305	2,293	2,320	2,398	2,299	2,336	2,298	2,342	2,332	▲10	＋20	18	136
長野　コシヒカリ	1,945	1,914	1,936	1,930	1,899	1,915	1,925	1,933	1,948	1,965	1,998	2,016	2,032	＋16	＋92	39	368
愛知　コシヒカリ	2,074	2,087	2,086	2,103	2,075	2,099	2,115	2,178	2,162	2,216	2,237	2,216	2,237	＋21	＋177	10	97
三重　コシヒカリ　一般	1,982	1,936	1,953	1,894	1,996	1,979	2,022	2,066	1,926	2,050	2,036	2,050	2,025	▲25	＋6	38	295
三重　コシヒカリ　伊賀	2,092	2,083	2,094	2,142	2,132	2,147	2,151	2,194	2,165	2,175	2,168	2,189	2,200	＋11	＋52	23	197
島根　コシヒカリ	2,207	2,267	1,919	2,263	2,223	2,237	2,186	2,312	2,251	2,291	2,367	2,322	2,247	▲76	＋231	8	60
岡山　コシヒカリ	1,992	1,987	2,024	1,967	2,025	2,016	1,993	2,032	2,003	2,042	2,065	2,080	2,081	＋1	＋59	11	82
愛媛　コシヒカリ	2,050	2,052	2,072	2,083	2,112	2,089	2,054	2,109	2,072	2,108	2,107	2,118	2,117	▲1	＋74	16	103
福岡　元気つくし	2,077	2,097	2,106	2,115	2,139	2,090	2,164	2,193	2,190	2,297	2,262	2,246	2,241	▲5	＋121	6	115
佐賀　さがびより	1,978	1,969	1,998	1,998	2,001	1,972	2,009	2,015	1,837	－	－	－	－	－	－	0	23
大分　ヒノヒカリ	1,922	1,889	1,859	1,894	1,885	1,858	1,877	1,912	1,897	1,896	1,934	2,004	2,004	＋0	＋104	15	123
宮崎　コシヒカリ	1,181	1,167	1,674	1,944	1,854	1,728	1,557	1,302	1,245	1,290	1,300	1,390	1,557	＋168	＋320	3	22
宮崎　ヒノヒカリ	1,823	1,830	1,805	1,817	1,798	1,815	1,818	1,825	1,823	1,839	1,831	1,879	1,923	＋44	＋94	17	178
全POS取引平均価格	2,011	2,006	2,007	2,010	2,014	2,031	2,039	2,079	2,054	2,065	2,080	2,082	2,078	▲4	＋59		
全POS取引数量（ｔ）	3,074	3,222	3,107	3,303	3,559	2,890	2,732	2,971	2,550	3,223	3,900	3,652	3,249	▲403	＋175	3,249	25,165

資料：(株)KSP-SPが提供するＰＯＳデータに基づいて農林水産省が作成

注1：（株）KSP-SPが提供するＰＯＳデータは、全国約1,031店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、 時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる 全ての精米の販売について５kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
注5：価格に含む消費税は8%である。

- 令和２年５月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比▲４円（▲0.2%）、対前年同月比＋59円（＋3.3%）の2,078円。



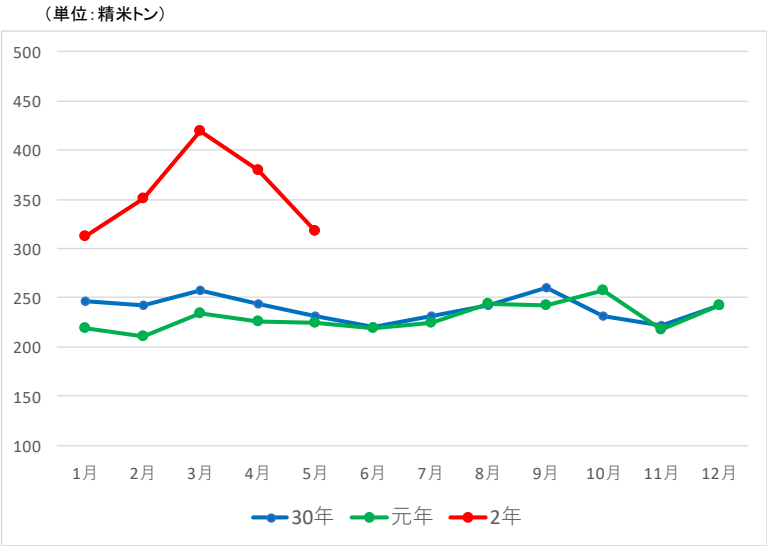
資料：(株)KSP-SPが提供するＰＯＳデータに基づいて農林水産省が作成

注1：（株）KSP-SPが提供するＰＯＳデータは、全国約1,031店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
注2： POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、 時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
注3： POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
注4： 全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる 全ての精米の販売について５kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
注5： 価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量（精米換算）】

（単位：精米トン、%）

	30年	元年 ①	2年 ②	対前年同月比 ②/①
1月	246	219	313	143%
2月	243	211	351	166%
3月	257	234	420	179%
4月	244	226	380	168%
5月	232	225	318	141%
6月	221	219		
7月	231	225		
8月	243	244		
9月	260	242		
10月	232	257		
11月	222	217		
12月	242	243		



資料：(株)KSP-SPが提供するＰＯＳデータに基づいて農林水産省が作成

注1：（株）KSP-SPが提供するＰＯＳデータは、全国約1,031店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
注2： POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、 時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
注3： POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

Ⅴ　輸出入の動向

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html 】

1　ＭＡ米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：千玄米トン）

	米　国	タ イ	中　国	オーストラリア	その他	合　計	うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	－	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	－	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	－	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度（6月末現在）	－	10	－	－	－	10	10	－

資料：　農林水産省「米をめぐる関係資料」
　　※ＳＢＳ輸入数量の単位は千実トン。
注：１　各年度の輸入契約数量の推移。
　　２　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。
　　３　千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。
（参考）ＭＡ米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

２　加工原材料用に係る政府所有ＭＡ米の見積合わせ結果
（平成３１年度・令和元年度）

（単位：実トン）

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成31年4～6月分（長期契約）	23,199	平成31年4～令和元年7月分	2,870
4月分（月別契約）	322	令和元年8～11月分	3,153
令和元年5月分（月別契約）	326	令和元年12～令和2年3月分	2,259
6月分（月別契約）	432		
7～9月分（長期契約）	23,160		
7月分（月別契約）	220		
8月分（月別契約）	458		
9月分（月別契約）	633		
10～12月分（長期契約）	23,204		
10月分（月別契約）	534		
11月分（月別契約）	612		
12月分（月別契約）	572		
令和2年1～3月分（長期契約）	23,443		
1月分（月別契約）	291		
2月分（月別契約）	440		
3月分（月別契約）	411		
小　計	98,257	小　計	8,282
合計	106,539		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

３　ＳＢＳ輸入米の見積合わせ結果（令和元年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回（令和元年9月27日）	一般米	5,252	276	40		80		260		501		6,409
	砕精米	2,200		200		100						2,500
	計	7,452	276	240		180		260		501		8,909
第2回（令和元年10月30日）	一般米	4,944	140	761		280				941		7,066
	砕精米	1,800		700								2,500
	計	6,744	140	1,461		280				941		9,566
第3回（令和元年11月22日）	一般米	5,023		1,132	126	420				297		6,998
	砕精米	2,200	100	200								2,500
	計	7,223	100	1,332	126	420				297		9,498
第4回（令和元年12月20日）	一般米	2,442	340	1,344		200				230		4,556
	砕精米	2,000		300		200						2,500
	計	4,442	340	1,644		400				230		7,056
第5回（令和2年1月22日）	一般米	4,333	360	288		100				1,058		6,139
	砕精米	2,116	100	500								2,716
	計	6,449	460	788		100				1,058		8,855
第6回（令和2年2月7日）	一般米	3,498	1,120			100				1,831		6,549
	砕精米	2,300	200		500							3,000
	計	5,798	1,320		500	100				1,831		9,549
第7回（令和2年2月25日）	一般米	4,856	360	392		120				589		6,317
	砕精米	2,334	200	300								2,834
	計	7,190	560	692		120				589		9,151
第8回（令和2年3月10日）	一般米	2,589		478		240				4,912		8,219
	砕精米	4,260		160	100	220				1,000		5,740
	計	6,849		638	100	460				5,912		13,959
令和元年度計	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計（参考）	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計（参考）	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000
平成28年度計（参考）	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
	計	52,138	4,300	5,787	496	2,396	0	6,861	0	1,336	0	73,314
平成27年度計（参考）	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	1,285	0	959	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	0	0	150	0	16,452
	計	15,191	4,718	5,182	1,094	736	0	1,285	0	1,109	0	29,315
平成26年度計（参考）	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	559	0	767	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	0	0	100	0	4,316
	計	662	3,142	5,272	324	780	0	559	0	867	0	11,606

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

4　CPTPP・国別枠の見積合わせ結果（令和２年度）

（単位：実トン）

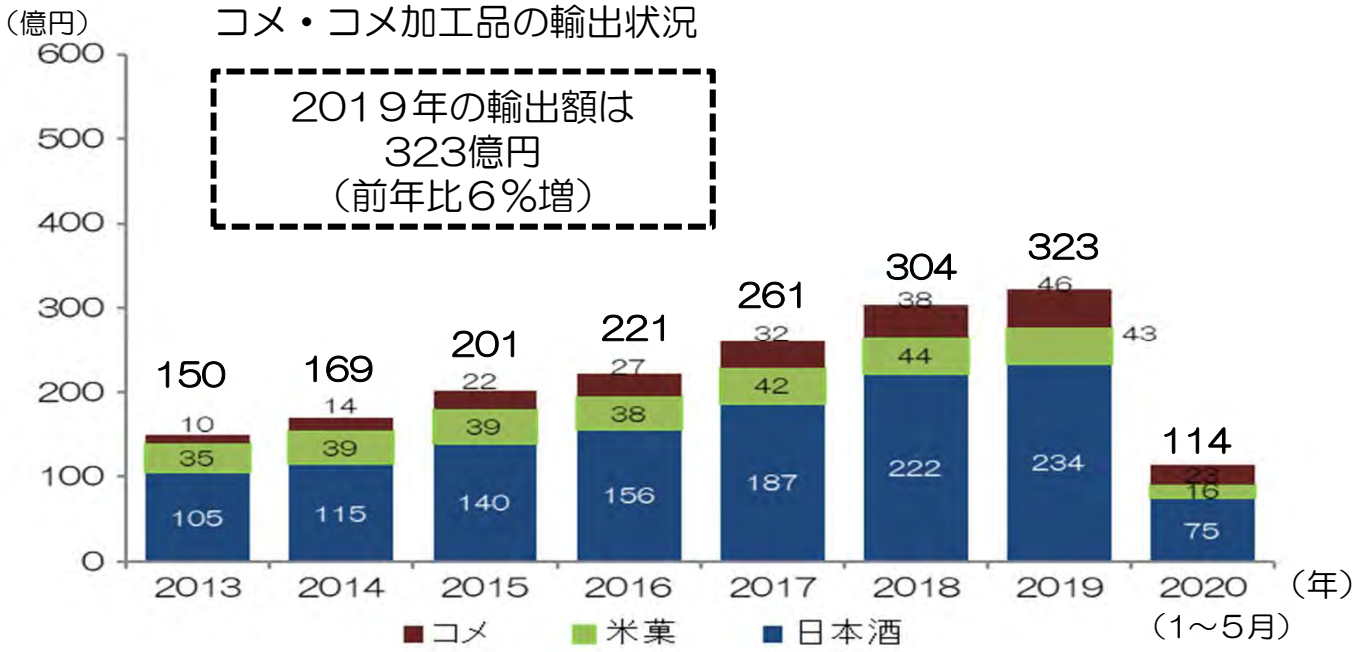
		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和2年5月26日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
令和2年度計	一般米	0	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	0	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 （参考）	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

5　コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 2019年のコメ・コメ加工品の輸出額は323億円（前年比６％増）。
- うちコメの輸出は前年比23%増の46億円（数量では17,381トン、前年比26%増）。特に香港・シンガポール・米国・中国向けの輸出が大幅に増加。
- 2020年3月31日に閣議決定された新たな食料・農業・農村基本計画において、2030年の農林水産物・食品の輸出額目標を5兆円と設定。うちコメの輸出額は261億円が見込まれている。

コメ・コメ加工品の輸出状況



コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

品　目　名			2016年	2017年	2018年	2019年	2020年1～5月	対前年同期比	（参考）主な輸出先国
コメ・コメ加工品		数量（※）	24,135トン	28,340トン	31,741トン	34,851トン	13,957トン	−1%	米国 香港 中国 台湾 韓国 シンガポール
		金額	221億円	261億円	304億円	323億円	114億円	−15%	
	コメ（援助米を除く）	数量	9,986トン	11,841トン	13,794トン	17,381トン	8,493トン	+33%	香港 シンガポール 米国 台湾 中国
		金額	27億円	32億円	38億円	46億円	23億円	+35%	
	米菓（あられ・せんべい）	数量	3,567トン	3,849トン	4,053トン	4,033トン	1,533トン	±0%	米国 台湾 香港 シンガポール サウジアラビア
		原料米換算	3,032トン	3,272トン	3,445トン	3,428トン	1,303トン	±0%	
		金額	38億円	42億円	44億円	43億円	16億円	±0%	
	日本酒（清酒）	数量	19,737キロリットル	23,482キロリットル	25,747キロリットル	24,928キロリットル	7,388キロリットル	-35%	米国 中国 香港 韓国 台湾 シンガポール
		原料米換算	11,117トン	13,227トン	14,502トン	14,041トン	4,162トン	-35%	
		金額	156億円	187億円	222億円	234億円	75億円	-25%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）
注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

（1） 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2019年の商業用の米の輸出は、輸出数量が17,381トン（対前年比＋26%）、輸出金額が約46億円（対前年比＋23%）と、数量及び金額共に過去最高を記録。
2020年１～５月の商業用の米の輸出は輸出数量が8,493トン（対前年同期比＋33%）、輸出金額が約23億円（対前年同期比＋35%）。

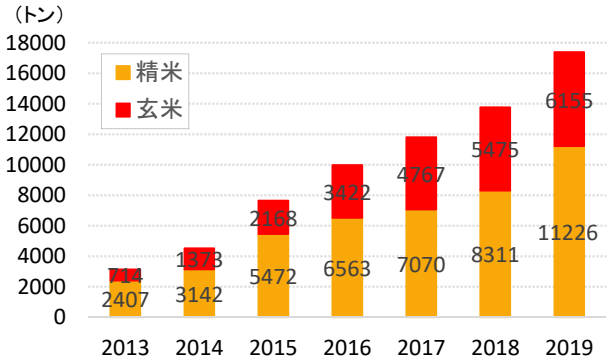
	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年（1～5月）	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円
輸出合計	7,640 (+69%)	2,234 (+56%)	9,986 (+31%)	2,709 (+21%)	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	8,493 (+33%)	2,290 (+35%)
香港	2,519	659	3,342	842	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	3,099 (+47%)	826 (+55%)
シンガポール	1,850	463	2,350	539	2,861	642	3,161	694	3,879	802	1,523 (+3%)	336 (+10%)
アメリカ	322	103	812	236	986	320	1,282	404	1,980	543	1,012 (+44%)	285 (+46%)
台湾	753	268	910	321	943	350	1,173	394	1,262	411	708 (+71%)	218 (+49%)
中国	568	291	375	163	298	97	524	211	1,007	363	377 (+14%)	115 (-8%)
オーストラリア	273	84	357	109	476	145	635	197	770	233	468 (+82%)	136 (+76%)
タイ	208	37	395	71	192	51	320	81	578	145	244 (-4%)	63 (+3%)
イギリス	189	60	326	98	695	191	422	121	450	131	232 (+13%)	65 (+13%)
ベトナム	142	15	74	16	101	33	118	37	213	65	50 (+16%)	14 (+5%)
ロシア	30	10	74	25	78	31	120	43	174	64	63 (+58%)	23 (+51%)
マレーシア	124	41	167	45	259	62	221	51	234	59	88 (+2%)	22 (+6%)
モンゴル	134	24	198	33	203	32	336	56	315	53	227 (+141%)	37 (+137%)
ドイツ	91	29	90	32	62	26	92	36	140	52	58 (+38%)	25 (+43%)
カナダ	85	23	96	29	92	28	138	43	158	51	97 (+62%)	29 (+46%)
フランス	33	14	39	16	61	27	78	32	93	40	28 (-22%)	14 (-10%)
フィンランド	1	0	1	1	2	1	47	11	183	40	91 (+194%)	19 (+190%)
オランダ	53	14	96	23	105	24	112	30	102	30	19 (-58%)	8 (-29%)
マカオ	30	12	39	17	38	18	65	27	62	26	12 (-52%)	6 (-45%)
インドネシア	80	17	97	30	72	26	1	2	90	25	― –	― –
アラブ首長国連邦	18	7	22	9	18	9	37	17	55	23	12 (-45%)	7 (-26%)
その他	137	62	126	54	171	70	222	110	200	91	85	41
（参考）EU ※	397	135	574	180	943	283	800	253	1,050	326	245 (-40%)	83 (-33%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）
注1：（　）内は対前年同期増減率である。
注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。
※EUは2020年２月以降の統計からイギリス分が除かれている。

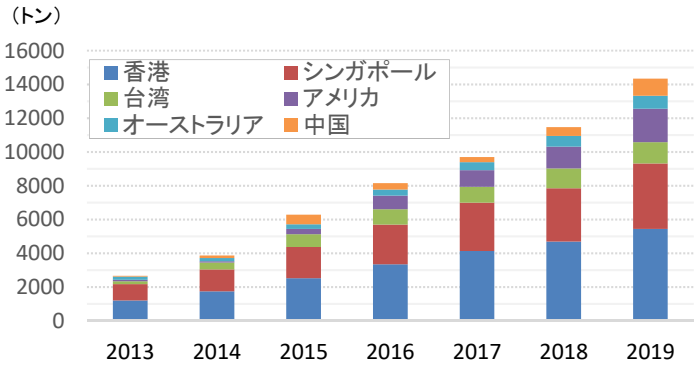
（2） 2019年の主な増加要因

- 全体として、日本食レストラン、寿司屋、おにぎり屋といった、日本産米を取り扱う外食・中食店向けの需要が好調。
- 香港、シンガポール、米国等においては、日本産米を玄米で輸出し、現地で精米して販売するビジネスが引き続き好調。
- 中国においては、日本食レストラン・現地系小売店の需要及びＥＣサイト、中秋節・春節ギフト用の伸びにより、前年より著しく増加。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



香　港 ↗ 5,436トン（前年比＋16%） 1,372百万円（前年比＋18%）

１人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。また現地系も含めて日本食レストランチェーン向け等に安定的に輸出が増加している。更に、現地系スーパー等での販売や日本産米を用いたおにぎり屋の店舗数拡大等により、ミドルレンジ層の需要が広がっている。

シンガポール ↗ 3,879トン（前年比＋23%） 802百万円（前年比＋15%）

１人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。高級店だけでなく、チェーン店の日本食レストラン等向け需要が増加している。玄米で輸出し現地で精米して販売するビジネスの伸びが顕著で、2015年に玄米輸出が精米輸出を上回り、2019年は玄米輸出の割合が６割以上を占める。

アメリカ ↗ 1,980トン（前年比＋54%） 543百万円（前年比＋34%）

米国産米の価格が上昇、日本産米との価格差が縮まったことにより、日系スーパー及び高級日本食レストランを中心に取り扱い店舗が増加。日本産米の輸出は西海岸が中心であったが、近年は健康志向の高所得者層向けに東海岸への輸出も増加。

中　国 ↗ 1,007トン（前年比＋92%） 363百万円（前年比＋72%）

日本食レストランでの取扱増加に加え、小売では日本産米アンテナショップの出店や現地系小売店での取扱が増加。また、主要販売経路であるＥＣサイトでの販売が好調なことや、高級品として中秋節・春節向けギフト用の伸びが著しいこと等が寄与。展示会にて日本産米をPRしたことや、SNSを使用した情報発信も輸出増加に寄与。

ロシア ↗ 174トン（前年比＋45%） 64百万円（前年比＋50%）

大手スーパーだけでなく、モスクワ市内の日本食レストランにも日本産米を導入される動きがある。

フィンランド ↗ 183トン（前年比＋289%） 40百万円（前年比＋263%）

大手スーパーの持ち帰り寿司に日本産米が導入。

（3） 米菓の輸出数量及び金額の推移

2019年の米菓の輸出は、輸出数量が4,033トン（対前年比±0%）、輸出金額が約43億円（対前年比−3%）と、数量及び金額共に前年から減少。
2020年１～５月の米菓の輸出は、輸出数量が1,533トン（対前年同期比±0%）、輸出金額が約16億円（対前年同期比±0%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年（1～5月）	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円
輸出合計	3,679 (−8%)	3,869 (−2%)	3,567 (−3%)	3,808 (−2%)	3,849 (+8%)	4,186 (+10%)	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (−0%)	4,306 (−3%)	1,533 (−0%)	1,627 (+0%)
アメリカ	797	794	897	878	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	418 (−4%)	422 (−4%)
台湾	895	921	868	909	731	758	830	878	854	894	322 (+23%)	345 (+22%)
香港	664	826	578	725	520	660	629	744	603	724	236 (−2%)	273 (+1%)
シンガポール	239	264	202	250	200	269	208	268	209	243	68 (−10%)	78 (−14%)
サウジアラビア	242	146	122	69	170	98	279	176	258	161	124 (−13%)	80 (−9%)
中国	78	86	52	55	62	84	61	123	87	160	39 (+56%)	69 (+38%)
韓国	98	146	161	230	326	489	229	338	119	156	19 (−75%)	22 (−78%)
ベトナム	25	33	50	51	42	76	55	112	75	155	34 (+40%)	74 (+47%)
オーストラリア	159	143	160	139	173	144	121	106	127	111	56 (+3%)	45 (−2%)
タイ	45	68	37	53	40	57	44	60	62	83	28 (+8%)	36 (+4%)
オランダ	126	111	113	106	127	111	81	87	58	61	21 (−27%)	22 (−23%)
カナダ	27	32	25	28	31	37	31	37	35	42	15 (+21%)	17 (+25%)
マレーシア	14	17	26	29	25	31	25	29	39	41	16 (+107%)	17 (+146%)
ブラジル	40	36	40	35	43	41	37	38	40	41	11 (−31%)	11 (−31%)
ブルガリア	49	14	38	9	98	27	103	31	149	40	50 (+64%)	13 (+91%)
イギリス	24	28	23	29	21	26	18	22	21	32	6 (−29%)	11 (−14%)
フィリピン	9	11	21	24	19	19	23	22	27	27	10 (−0%)	11 (+2%)
北マリアナ諸島	19	27	17	22	22	28	20	25	19	25	7 (−22%)	9 (−25%)
グアム	19	23	22	24	16	21	19	23	19	24	6 (−30%)	8 (−24%)
アラブ首長国連邦	21	33	21	32	20	30	19	28	16	23	6 (−12%)	9 (−9%)
その他	90	110	96	109	95	119	112	144	117	142	42	54
（参考）EU ※	235	200	223	193	277	206	240	189	267	183	87 (+6%)	58 (−14%)

資料：財務省「貿易統計」
注：（　）内は対前年同期増減率である。
※EUは2020年２月以降の統計からイギリス分が除かれている。

（4） 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2019年の日本酒の輸出は輸出数量が24,928キロリットル（対前年比－3%）、輸出金額が約23億円（対前年比＋5%）と、数量は減少したものの、金額は過去最高を記録。
2020年１～５月の日本酒の輸出は輸出数量が7,388キロリットル（対前年同期比－35%）、輸出金額が約75億円（対前年同期比－25%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年（1～5月）	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
	キロリットル	百万円	キロリットル	百万円	キロリットル	百万円	キロリットル	百万円	キロリットル	百万円	キロリットル	百万円
輸出合計	18,180 (+11%)	14,011 (+22%)	19,737 (+9%)	15,581 (+11%)	23,482 (+19%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	7,388 (-35%)	7,510 (-25%)
アメリカ	4,780	4,997	5,108	5,196	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	2,236 (-18%)	2,286 (-21%)
中国	1,576	1,172	1,910	1,449	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	1,285 (-44%)	1,398 (-36%)
香港	1,745	2,282	1,877	2,630	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	887 (+8%)	1,674 (+5%)
韓国	3,367	1,364	3,695	1,562	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	308 (-86%)	224 (-76%)
台湾	2,112	890	2,096	931	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	740 (-13%)	458 (-8%)
シンガポール	437	526	509	601	530	691	610	837	609	857	183 (-21%)	267 (-16%)
カナダ	553	345	576	381	711	486	684	529	715	548	247 (-5%)	187 (-2%)
オーストラリア	358	310	409	362	444	396	502	446	483	439	146 (-19%)	142 (-16%)
ベトナム	339	248	390	287	376	267	462	440	437	376	74 (-47%)	53 (-59%)
イギリス	252	260	317	323	388	348	298	324	352	373	94 (-37%)	97 (-35%)
フランス	151	140	169	196	266	267	274	276	270	285	84 (-19%)	79 (-31%)
タイ	503	230	461	240	472	252	604	300	627	276	198 (-24%)	85 (-32%)
ドイツ	401	162	388	179	368	167	367	203	477	242	200 (+1%)	98 (-4%)
マレーシア	213	181	223	201	289	265	283	244	253	242	71 (-18%)	52 (-40%)
マカオ	21	61	25	79	34	150	52	207	39	156	13 (-27%)	25 (-62%)
オランダ	205	130	183	108	276	144	223	161	247	142	106 (-4%)	68 (+16%)
イタリア	249	111	322	114	386	139	312	130	339	129	127 (-13%)	46 (-17%)
ブラジル	184	88	184	93	219	109	207	93	248	119	80 (-17%)	41 (-5%)
スペイン	70	43	82	57	154	110	153	98	130	75	37 (-30%)	26 (-22%)
メキシコ	35	31	49	52	50	48	67	63	67	74	18 (-32%)	14 (-55%)
その他	629	441	767	540	808	529	864	642	951	661	255	190
（参考）EU ※	1,475	961	1,605	1,085	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	650 (-25%)	400 (-32%)

資料：財務省「貿易統計」
注1：（　）内は対前年同期増減率である。
注2：数量1キロリットル未満、金額20万円未満は計上されていない。
※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

（5） 包装米飯（パックご飯）等の輸出数量及び金額の推移

2019年の包装米飯等の輸出は輸出数量が1,018トン（対前年比＋10%）、輸出金額が約５億円（対前年比＋８%）と、数量及び金額共に過去最高を記録。
2020年１～５月の包装米飯等の輸出は輸出数量が460トン（対前年同期比＋15%）、輸出金額が約３億円（対前年同期比＋27%）。

	2017年		2018年		2019年		2020年（1～5月）	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円	トン	百万円
輸出合計	658	344	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	460 (+15%)	253 (+27%)
アメリカ	338	132	407	159	442	167	177 (+38%)	66 (+34%)
ベトナム	69	54	92	73	82	79	33 (+29%)	36 (+30%)
香港	35	25	79	51	130	77	81 (+18%)	55 (+60%)
台湾	33	28	58	36	105	56	62 (+104%)	34 (+105%)
中国	8	6	20	14	96	42	33 (−55%)	23 (−22%)
タイ	29	14	40	17	63	27	28 (+15%)	12 (+25%)
シンガポール	21	19	31	24	21	17	15 (+67%)	8 (−8%)
韓国	67	33	149	72	31	17	3 (−89%)	2 (−84%)
イギリス	8	4	10	4	9	4	8 (+205%)	4 (+255%)
フィリピン	1	0	1	0	4	4	2 (+141%)	1 (+93%)
インドネシア	6	4	4	3	5	4	6 (+181%)	3 (+131%)
カナダ	1	0	5	4	6	3	0 (−79%)	0 (−85%)
オランダ	2	1	5	3	4	3	1 (+11%)	2 (+36%)
マカオ	0	0	0	0	3	3	0 -	0 -
メキシコ	6	3	5	3	5	3	3 (+52%)	2 (+69%)
オーストラリア	19	12	1	1	3	2	2 -	1 -
フランス	1	1	3	2	3	2	0 (−79%)	0 (−80%)
ドイツ	0	1	—	—	0	1	0 -	1 -
カンボジア	4	3	1	1	2	1	— -	— -
マレーシア	—	—	—	—	1	1	1 -	1 -
その他	12	4	12	5	2	2	3	1
（参考）EU ※	11	7	18	9	17	11	7 (+0%)	4 (+0%)

資料：財務省「貿易統計」
注1：（ ）内は対前年同期増減率である。
注2：包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。
（2017年1月から単独のコードとして独立。）
※EUは2020年２月以降の統計からイギリス分が除かれている。

６　コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

★重点国

新興市場：台湾、豪州、ＥＵ、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール

〈主な取組（令和元年度）〉

〇米国のホテルレストランや飲食店オーナー、ディストリビューター等を招聘し、産地視察や輸出業者とのビジネスマッチングを実施。

【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

★重点国

新興市場：中東、中国、ＥＵ

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国

〈主な取組（令和元年度）〉

〇北米で開催される展示会への出展及び現地小売店と連携したプロモーション・テスト販売を実施。

【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

★重点国

新興市場：ＥＵ、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港

〈主な取組（令和元年度）〉

〇中国・北京において、一般消費者による日本酒の品評会（Sake-China）を開催。

輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

〈日本産米輸出の統一ロゴマーク〉

THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。

Ⅵ　主食用米以外の情報

1　加工用米及び新規需要米等の生産状況

（1） 加工用米の生産量

（単位：トン）

	うるち米	もち米	合計	（参　考） 全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和 元年産	206,393	50,146	256,540	100,798	155,741

資料：農林水産省「加工用米生産量」
注：1　「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、元年産は計画数量。
注：2　参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。 地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。
注：3　参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。
注：4　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（2） 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

（単位：トン、ha）

	新規需要米 合　計		米粉用米		飼料用米		WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）	新市場開拓用米（輸出用米等）		酒造用米		バイオエタノール用米		その他（わら専用稲・青刈り用稲）	
	面　積	生産量	面　積	生産量	面　積	生産量	面　積	面　積	生産量	面　積	生産量	面　積	生産量	面　積	生産量
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	－	－	303	2,426	1,330	982
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	－	－	295	2,314	956	1,108
22年産	37,072	114,851	4,957	27,796	14,883	81,237	15,939	388	2,184	－	－	397	2,940	508	694
23年産	65,569	228,820	7,324	40,311	33,955	183,033	23,086	287	1,626	－	－	415	2,998	501	852
24年産	68,091	224,127	6,437	34,521	34,525	183,431	25,672	454	2,524	－	－	450	2,793	553	857
25年産	53,744	142,499	3,965	21,071	21,802	115,350	26,600	507	2,825	－	－	414	2,594	457	659
26年産	71,073	210,540	3,401	18,161	33,881	178,486	30,929	1,092	6,092	859	4,354	384	2,373	527	1,074
27年産	125,454	459,596	4,245	22,925	79,766	421,077	38,226	1,547	8,482	1,387	7,096	－	－	283	15
28年産	139,028	515,200	3,428	18,454	91,169	481,468	41,366	1,437	7,950	1,420	7,309	－	－	207	19
29年産	142,738	526,461	5,307	28,331	91,510	483,325	42,893	1,328	7,349	1,448	7,424	－	－	252	31
30年産	131,048	468,593	5,295	28,065	79,535	420,667	42,545	3,578	19,862	－	－	－	－	96	－
元年産	124,477	433,907	5,306	27,975	72,509	383,443	42,450	4,097	22,488	－	－	－	－	114	－

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成２０年産～令和元年産）」
注１：平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。
注２：令和元年産は令和元年10月15日現在の値。
注３：「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。
注４：「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」(以下「要領」)に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。
注５：平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は 、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。
注６：「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（3） 令和元年産　都道府県別の生産状況

（単位:トン）

産　地	加工用米			新規需要米				政府備蓄米	合計
		うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米		
全国	256,540	206,393	50,146	433,907	383,443	22,488	27,975	185,314	875,760
北海道	27,434	19,128	8,306	14,631	11,069	3,296	267	2,162	44,227
青　森	7,176	6,710	466	28,578	27,777	767	33	26,544	62,297
岩　手	7,103	5,529	1,574	21,077	19,789	962	327	3,478	31,659
宮　城	4,506	3,826	679	28,705	25,878	2,443	383	11,600	44,811
秋　田	48,861	31,010	17,851	12,552	8,931	1,433	2,188	21,572	82,985
山　形	22,264	20,900	1,364	22,426	20,654	1,015	757	21,291	65,981
福　島	2,478	2,444	34	24,197	23,819	367	11	26,601	53,276
茨　城	6,809	6,670	140	42,630	40,417	2,124	89	700	50,139
栃　木	11,397	11,383	14	48,815	45,021	289	3,506	7,487	67,700
群　馬	7,367	7,367		6,665	4,936	68	1,661	30	14,062
埼　玉	1,222	1,217	5	9,905	6,043	145	3,718	220	11,347
千　葉	8,480	4,830	3,650	21,847	21,595	75	177	1,580	31,907
東　京				0			0		0
神奈川				55	52		3		55
新　潟	31,188	21,556	9,632	24,069	12,016	4,274	7,779	25,089	80,346
富　山	6,757	5,584	1,173	9,040	7,057	1,510	473	12,197	27,994
石　川	2,907	2,502	405	3,859	2,915	285	660	7,325	14,092
福　井	2,850	2,555	295	7,273	6,020	835	418	4,050	14,173
山　梨	366	366		124	84		40		491
長　野	4,594	4,273	322	2,060	1,488	425	146	1,426	8,081
岐　阜	4,394	4,393	1	11,510	11,015	365	130	435	16,340
静　岡	666	666		5,906	5,830	7	69	20	6,592
愛　知	3,416	3,292	124	6,846	6,385	104	358	822	11,084
三　重	1,056	1,001	54	8,843	8,034	333	477	248	10,147
滋　賀	5,064	4,679	385	5,955	4,934	874	147	1,318	12,337
京　都	2,612	2,604	8	623	495	93	35		3,236
大　阪	2	2		56	31		25		58
兵　庫	3,563	3,358	205	1,696	1,559	16	121		5,259
奈　良	102	102		288	157		131		390
和歌山				14	12		2		14
鳥　取	99	99		3,574	3,572		2	400	4,073
島　根	1,571	1,468	103	4,187	4,122	13	52	130	5,888
岡　山	2,008	1,921	87	6,132	5,679	18	435	977	9,117
広　島	1,873	1,833	41	2,352	1,761		591		4,225
山　口	4,714	4,637	77	4,555	4,477	3	74		9,269
徳　島	81	81		2,395	2,218	112	65	1,116	3,593
香　川	221	221		663	603	11	49		884
愛　媛	206	206		1,437	1,417		20		1,643
高　知	316	316		3,958	3,893		65	10	4,284
福　岡	1,115	927	188	10,645	9,565	33	1,046	264	12,024
佐　賀	2,018	248	1,770	2,951	2,850	28	74	220	5,189
長　崎	47	47		650	620		30	10	707
熊　本	3,763	2,637	1,125	7,349	6,111	82	1,156	247	11,359
大　分	672	672		6,995	6,946		49	94	7,760
宮　崎	7,390	7,390		2,281	2,102	84	95		9,671
鹿児島	5,792	5,724	68	3,536	3,497		40		9,328
沖　縄	19	19							19

資料：　農林水産省「令和元年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「令和元年産新規需要米の都道府県別の取組計画用認定状況」（確定値）、「国内産政府備蓄米の買入入札の結果」（令和元年産）

注：1　政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分5,651トンを含んでいる。

注　2　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

加工2

2　米加工品の状況

（1）　主な米加工品の生産状況

（トン）

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年（1～4月）	対前年同期比
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	140,656	108%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	10,556	132%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	67,123	112%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	59,631	102%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	1,401	92%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	152	72%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	1,793	93%
米　菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	76,147	102%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	31,546	103%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	44,601	102%
味　噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	161,336	101%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	137,996	101%
麦みそ	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	5,324	108%
豆みそ	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	8,025	96%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	9,991	103%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	32,233	102%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	14,772	95%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	3,184	102%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	1,443	100%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	525	98%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	386	110%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	330	110%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	1,035	119%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	10,558	113%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	13,587	110%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	129,313	86%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	42,166	82%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	4,963	78%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	11,750	83%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	17,226	86%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	8,227	75%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	87,147	88%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	129,831	94%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	59,017	98%
麦焼酎	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	54,117	97%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	9,697	89%

資料：食品産業動態調査（農林水産省）

注1：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注2：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。

注3：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

（２）　30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 清酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の平成30米穀年度における使用量は、焼酎、包装もちの出荷量の減少等により、前年から微減の約96万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約７割。残りの約３割はＭＡ米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に特定米穀及び輸入米粉調製品の使用量が増加。

＜うるち米＞　（単位：万玄米トン）

制度／用途	主食用米	加工用米	新規需要米（米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	1	1		5	5	2	13
加工米飯用（無菌包装米飯除く）	5	6					11
味噌用		1		2	7		10
焼酎用（泡盛含む）		2		3	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	8
その他用	1	2		1	1		4
合計	18	21	3	16	16	3	77

＜もち米＞　（単位：万玄米トン）

制度／用途	主食用米	加工用米	新規需要米（米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	2	3				1	7
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用（無菌包装米飯除く）	1						1
その他用						1	2
合計	6	6		1	1	5	19

注１：　清酒用の（　）書きは、酒造好適米で内数。
２：　加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約９万トンを含んでいない。
３：　焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麹等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。
４：　その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。
５：　特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。
６：　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】
1　用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
清酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
2　制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量
ＭＡ米（ＳＢＳ含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
特定米穀・・・１で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、ＭＡ米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

（３）　加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

＜うるち米＞　（単位：万玄米トン）

用　途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米（米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	26	11　(8)	9		4			24　(8)
	27	12　(9)	10		3			25　(9)
	28	13　(10)	9		3			25　(10)
	29	12　(10)	9		3			24　(10)
	30	11　(9)	9		4			24　(9)
米菓用	26	1	1		5	3	2	12
	27	1	2		7	2	1	13
	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
加工米飯用（無菌包装米飯除く）	26	5	5					10
	27	5	5					10
	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
味噌用	26		1		3	6		10
	27		1		7	1		9
	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
焼酎用（泡盛含む）	26				6	3		9
	27		1		5	2		8
	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
米穀粉用	26		1	3	1	2	1	8
	27		1	2	2	2	1	8
	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
その他用	26	1			2	1		4
	27	1			2	1		4
	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
合計	26	18	18	3	21	14	3	77
	27	18	22	2	24	9	2	77
	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77

＜もち米＞　（単位：万玄米トン）

用　途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米（米粉用米）	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	26	3	1			1	2	7
	27	3	2				2	7
	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
米菓用	26	2	1			1	2	6
	27	2	1		1	1	2	6
	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	26	1					1	3
	27	1					1	3
	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
加工米飯用（無菌包装米飯除く）	26							1
	27	1						1
	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
その他用	26						2	2
	27						1	2
	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
合計	26	7	3		1	2	7	19
	27	7	4		1	1	6	19
	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19

注１：　清酒用の（　）書きは、酒造好適米で内数。
２：　加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。
３：　焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麹等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。
４：　その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。
５：　特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7㎜と農家が出荷の際に使用する1.75～1.9㎜の間の「ふるい下米」と、1.7㎜未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。
６：　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

３　酒造好適米の需給状況

（１）日本酒の出荷状況

- 　日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 　消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 　また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。ただし、令和元年の輸出量は減少に転じており、今後の動向に注視が必要。

日本酒の国内出荷量の推移　（千kl）

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	対前年比 元/30年
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	94%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	96%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	96%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	100%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	97%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	92%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。
注１：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒等８種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。
２：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移　（千kl）

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	対前年比 元/30年
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	97%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	108%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	124%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	54%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	100%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	92%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	105%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

（２）日本酒原料米の使用状況

- 　日本酒の原料米は、一般的に流通している米のほか、酒造りのために作られた特別な米である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 　日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒が増加していたため、24～25万トン程度で推移していたが、平成30年産は、特定名称酒も減少に転じたこと等から約23万トン（対前年比▲5%）に減少しており、今後の動向に注視が必要。

日本酒原料米の使用状況　（千トン）

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	対前年比 30/29年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	95%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	94%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	102%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	85%

資料：農林水産省による推計値。

（３）酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成26年産主食用米（うるち米）の取引価格の大幅下落等により、酒造好適米の生産へシフトしたこと等から、平成27年産において、需要を上回る生産量となった。
- 平成28年産以降は減少傾向にあるが、最近の日本酒出荷量の急減に伴い、酒造好適米の需要量も減少傾向にあり、供給過剰が続いている状況。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

（トン）

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	対30年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,722	100.9%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,631	102.1%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,588	92.4%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	101.1%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	107.7%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	33,096	104.7%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）
注：元年産は、令和2年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

（４）酒造好適米の需要量

- 令和元年７月に実施した需要量調査によると、酒造好適米の需要量については、令和元年産は88～90千トン程度、令和２年産は87～89千トン程度と見込まれている。

（参考）令和元年度 酒造好適米等の需要量調査の概要
- 日本酒の全酒造メーカー（1,430社）を対象として、令和元年７月に酒造好適米等の購入実績及び将来の購入見込数量を調査。763社から回答があり、回答率は数量ベースの回答率は約82～84%と推計される。

酒造好適米等の需要量調査結果

（トン）

	29年産	30年産	対29年産比	元年産	対29年産比	２年産	対29年産比
酒造好適米の需要量調査結果（実数）	77,719	72,905	93.8%	73,354	94.4%	73,013	93.9%
山田錦	32,148	28,682	89.2%	29,485	91.7%	29,044	90.3%
五百万石	16,191	15,365	94.9%	14,462	89.3%	14,403	89.0%
美山錦	5,058	4,734	93.6%	4,453	88.0%	4,406	87.1%
雄町	1,711	1,546	90.4%	1,560	91.2%	1,619	94.7%
その他	22,611	22,577	99.8%	23,395	103.5%	23,540	104.1%
酒造好適米の全体需要量（推計）	93～95千トン	87～89千トン		88～90千トン		87～89千トン	

資料：「令和元年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）
注１：「酒造好適米の需要量調査結果（実数）」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。
２：「酒造好適米の全体需要量（推計）」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約82～84%と推計されるため、今回調査した各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下ＵＲＬの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。
ＵＲＬ：http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

4　飼料用米の需要量

- 畜産側の令和２年産に係る飼料用米の年間需要量は、約１２０万トン。
〔農林水産省生産局畜産部飼料課調べ〕

① 全農グループ飼料会社：約65万トン
② (協)日本飼料工業会組合員工場：約46万トン
③ 全国酪農業協同組合連合会：約１万トン
④ 日本養鶏連：約3万トン

- 畜産農家：約２万トン〔53件〕（新規需要量、令和２年４月現在の報告分。追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は以下のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量（令和元年12月現在）

地区	年間使用可能数量（千トン）	備　考
北海道	58	ホクレンくみあい飼料
東北	199	ＪＡ全農北日本くみあい飼料
関東	122	ＪＡ東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	21	ＪＡ東日本くみあい飼料
東海	32	〃
近畿・中国	21	ＪＡ西日本くみあい飼料
四国	29	〃
北九州	33	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	137	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合　計	652	

(※) 使用可能数量は、製造工程・能力から試算した数量。
(※) MA米、備蓄米を含んだ場合の年間使用可能数量は、約820千ﾄﾝ。
(※) 畜種別の使用割合は、グループ内の飼料会社からの聞取りをもとに、養鶏約59%、養豚約31%、養牛約10%と推計。
(※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。
(※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：JA全農　畜産生産部麦類・副原料課　TEL：03-6271-8243

② 日本飼料工業会組合員の飼料用米需要量（令和元年12月現在）

地　区	需要量（千トン：単年度）	備　考
北海道	20	
東北	142	
関東	107	
中部	47	
関西	54	
九州	90	
合計	460	

(※) 輸入トウモロコシ価格以下であることが前提、価格水準により需要量は変動する。
(※) この他、MA米、備蓄米に対する需要が約26万ﾄﾝあり、上記の需要量には、MA米、備蓄用米は含まない。
(※) 畜種別の使用割合は、組合員の一部の工場からの聞取りのもとに、豚約35%、ブロイラー約32%、採卵鶏約30%、乳用牛約2%、肉用牛約1%と推計。
(※)四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

（協）日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー（工場）との仲介を実施。

問い合わせ先：「飼料用米ダイヤル」TEL:03-3583-8031　E-mail:Esamai@jafma.or.jp

③ 全国酪農業協同組合連合会の飼料用米の使用可能数量（令和元年12月現在）

地　区	年間使用可能数量もしくは需要量（千トン）	備　考
北海道	9.8	政府所有米穀(MA米)使用
東北	2.0	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
関東	1.2	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
中部	0.4	新規需要米使用
関西	1.0	政府所有米穀(MA米)と新規需要米併用
九州	0.0	
合　計	14.4	

(※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
(※) 畜種別の使用割合は、30年度の使用実績では、乳用牛約85%、肉用牛約15%。
(※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。
(※) 輸入トウモロコシ価格以下であることを前提とした需要量。
(※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部　TEL：03-5931-8007

④ 日本養鶏連の飼料用米の使用可能数量　（令和元年12月現在）

地 区	年間使用可能数量もしくは需要量（千トン：単年度）	備　考
北海道	0.0	
東北	0.5	*籾米、不可
関東	1.0	
北陸	0.0	
東海	1.0	
近畿・中国	6.0	*籾米、不可
四国	0.0	
九州	26.0	*一部、籾米不可
合計	34.5	

(※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
(※) 畜種別の使用割合は、30年度の使用実績では、採卵鶏約70%、ブロイラー約25%、その他約5%。
(※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。
(※) 輸入トウモロコシ価格以下であることを前提とした需要量。
(※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：日本養鶏連　事業部　TEL：03-5296-7041

- 畜産農家の令和２年産飼料用米の
  新規需要量（令和２年４月現在）

都道府県	新規需要量		うち確保済み	
	件数	数量（トン）	件数	数量（トン）
岩手県	1	50	1	50
宮城県	1	3		
秋田県	2	74		
茨城県	3	101	1	50
千葉県	7	6,363	1	500
山梨県	7	318		
長野県	7	448	6	428
愛知県	2	220		
京都府	5	254		
奈良県	2	1,110		
鳥取県	3	2,420	3	1,920
広島県	1	300		
香川県	4	110		
福岡県	2	1,300		
佐賀県	1	4		
長崎県	2	20		
大分県	1	3,000		
宮崎県	2	未定		
合計	**53**	**16,096**	**12**	**2,948**

（※）供給先が確保されていない新たな需要及びマッチング状況について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載（現在とりまとめ中の都道府県もあり）。
（※）追加の希望があれば随時更新。
（※）畜種別の使用割合は都道府県の報告から、肉用牛４件1,609㌧、乳用牛７件2,192㌧、豚11件3,371㌧、採卵鶏28件8,811㌧、ブロイラー２件92㌧、その他で1件20㌧。
（※）四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：生産局畜産部飼料課　TEL：03-3502-5993

飼料用米のマッチングの取組状況、配合飼料メーカーへの飼料用の供給等

飼料用米のマッチングの取組状況

○ 畜産農家と耕種農家とのマッチングのための要望調査を実施したところ、令和2年産飼料用米について、畜産農家から約2万トン（53件）の希望が寄せられている。さらに、全農グループ飼料会社において約65万トン、日本飼料工業会において約46万トン（中・長期的には約200万トン）の需要があるなど、配合飼料メーカーからの要望もあり、農林水産省としてもこれらのマッチング活動を推進。

○ 令和2年産飼料用米の生産・利用拡大に向けては、全国、地方ブロック、各県（地域）段階において推進体制を整備し、生産・流通・利用にかかる各種課題解決に向けた取組を総合的に推進。

○ 令和2年産に係る飼料用米の需要量

- **畜産農家の新規需要量：約2万トン（53件）**
  （令和2年4月現在報告分）
- **全農グループ飼料会社：年間約65万トン**
  （米使用可能数量約82万トンのうちMA米・備蓄米を含まない数量。）
- **（協）日本飼料工業会組合員工場：年間約46万トン**
  （米の需要量見込み約72万トンのうちMA米・備蓄米を含まない数量。中長期的にみた需要量は約200万トン。）

○ 飼料業界主要4団体の飼料用米生産拡大に向けたメッセージ

（平成29年3月28日公表）

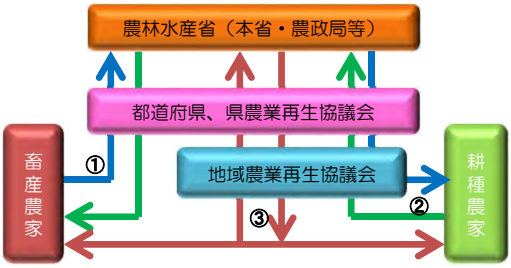
- 飼料業界の主要4団体が、飼料用米の生産拡大に向け、飼料用米に取り組む生産者に対するメッセージをとりまとめ、公表。
- 当面の飼料用米の使用可能数量は4団体で120万トン程度と十分に利用できる体制になっており、安心して飼料用米生産に取り組んでいただきたい旨が記載。

○ マッチング活動の取組体制

① 新たに飼料用米の供給を希望する畜産農家の連絡先や希望数量・価格等の取引条件を聞き取り、需要者情報としてとりまとめ、産地側（地域再生協・耕種農家等）へ提供

② 地域（再生協）における飼料用米の作付面積や数量を聞き取り、産地情報として取りまとめ、利用側（畜産農家等）へ提供

③ 各関係機関が連携し、マッチング活動を推進



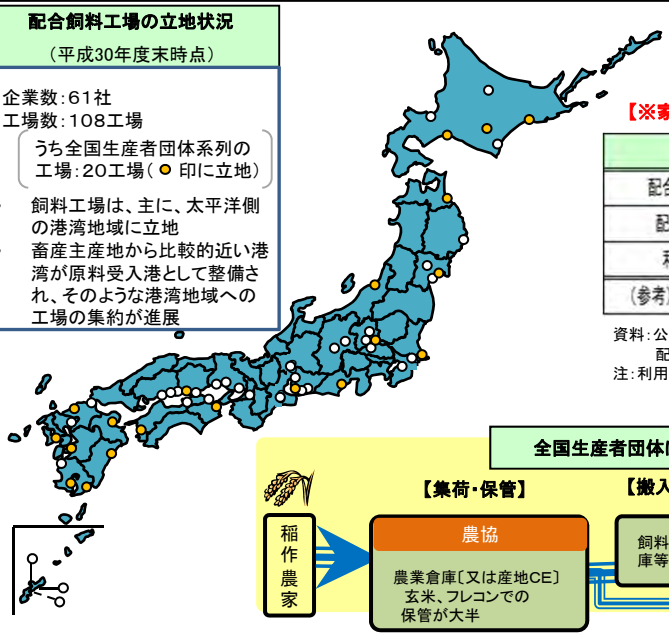
配合飼料メーカーへの飼料用米の供給について

○ 耕種農家は、農協に出荷することで、自ら需要先の確保を図る必要がなく、飼料用米の生産に取組可能。
○ 農協は、CEや耕種農家が乾燥した飼料用米を地域の農業倉庫等で保管。
○ 農協と出荷契約を締結した全国団体は、飼料メーカーの要望に応じ、工場近くの営業倉庫等で開袋・バラ化作業を行い、工場に搬入。
○ 飼料メーカーは、とうもろこしの代替として飼料用米を配合し、畜産農家に出荷（工場は、在庫として保有せず、計画的に受入・配合）。
○ 飼料工場では、次の課題をクリアすれば、受入量の増加に対応可能。
- 配合飼料の主原料（とうもろこし等）と同等またはそれ以下の価格での供給
- 工場への長期的かつ計画的な供給と集荷・流通の円滑化（例えば、半年程度前から供給量の調整を行い、計画的に搬入）

配合飼料工場の立地状況
（平成30年度末時点）

企業数：61社
工場数：108工場
（うち全国生産者団体系列の工場：20工場（● 印に立地））

- 飼料工場は、主に、太平洋側の港湾地域に立地
- 畜産主産地から比較的近い港湾が原料受入港として整備され、そのような港湾地域への工場の集約が進展



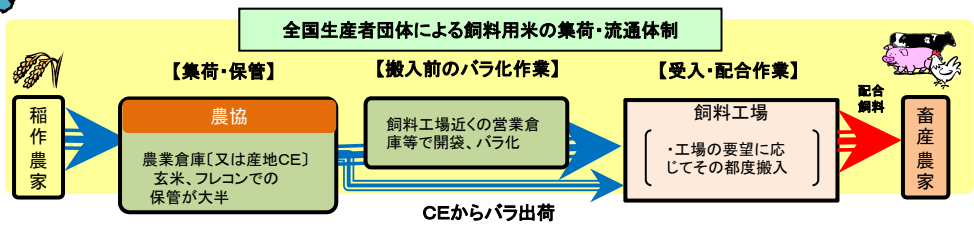
畜種別のコメの利用可能量（試算）

【※家畜の生理や畜産物に影響を与えることなく給与可能と見込まれる量】

区分	採卵鶏	ブロイラー	養豚	乳牛	肉牛	合計
配合飼料生産量	649万トン	386万トン	564万トン	303万トン	452万トン	2,355万トン
配合可能割合	20%	50%	15%	10%	3%	
利用可能量	130万トン	193万トン	85万トン	30万トン	14万トン	451万トン
（参考）R元年度使用量	24万トン	29万トン	24万トン	4万トン	3万トン	85万トン

資料：公益社団法人配合飼料供給安定機構発行「飼料月報」より
配合可能割合は畜産栄養有識者からの聞取り及び研究報告をもとに試算）
注：利用可能量は、令和元年度（速報値）の配合飼料生産量に配合可能割合を乗じて算出。

全国生産者団体による飼料用米の集荷・流通体制



別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧いただけます。

― 別冊「資料編」の目次 ―

Ⅰ　米の在庫情報

1　平成29･30年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）　在庫１　Excel

Ⅱ　米の契約･販売情報

1　産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成26～29年産）　契約１　Excel

2　平成29･30年産米の産地別契約･販売状況（累計、うるち米）（速報）　契約３　Excel

3　備蓄米の買入入札の結果（落札実績）（平成23年産～令和2年産）　契約15

Ⅲ　米の価格情報

1　米の相対取引価格の推移（通年平均価格）　価格１　Excel

2　米の現物市場の状況　価格４

Ⅳ　支援事業等

（1）水田活用の直接支払交付金　支援１

（2）畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）　支援６

（3）米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）　支援８

（4）収入保険　支援10

（5）主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業　支援12

（6）コメ海外市場拡大戦略プロジェクト　支援14

Ⅴ その他

（1）水稲うるち玄米の農産物検査結果　検査１

（2）麦・大豆の需要情報

①　令和２年産麦の産地別銘柄別入札結果　麦　１

②　令和元年産大豆の産地別銘柄別入札結果　大豆１

（3）野菜等の需給情報　野菜１

（4）令和元年産水稲の収穫量　統計１

（5）水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移（全国）　統計６

（6）水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、
10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の年次別推移（全国）　統計６

（7）年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移　統計８

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html